

2. 就労の実態について

問6 あなたの現在のお仕事についてお聞きします。

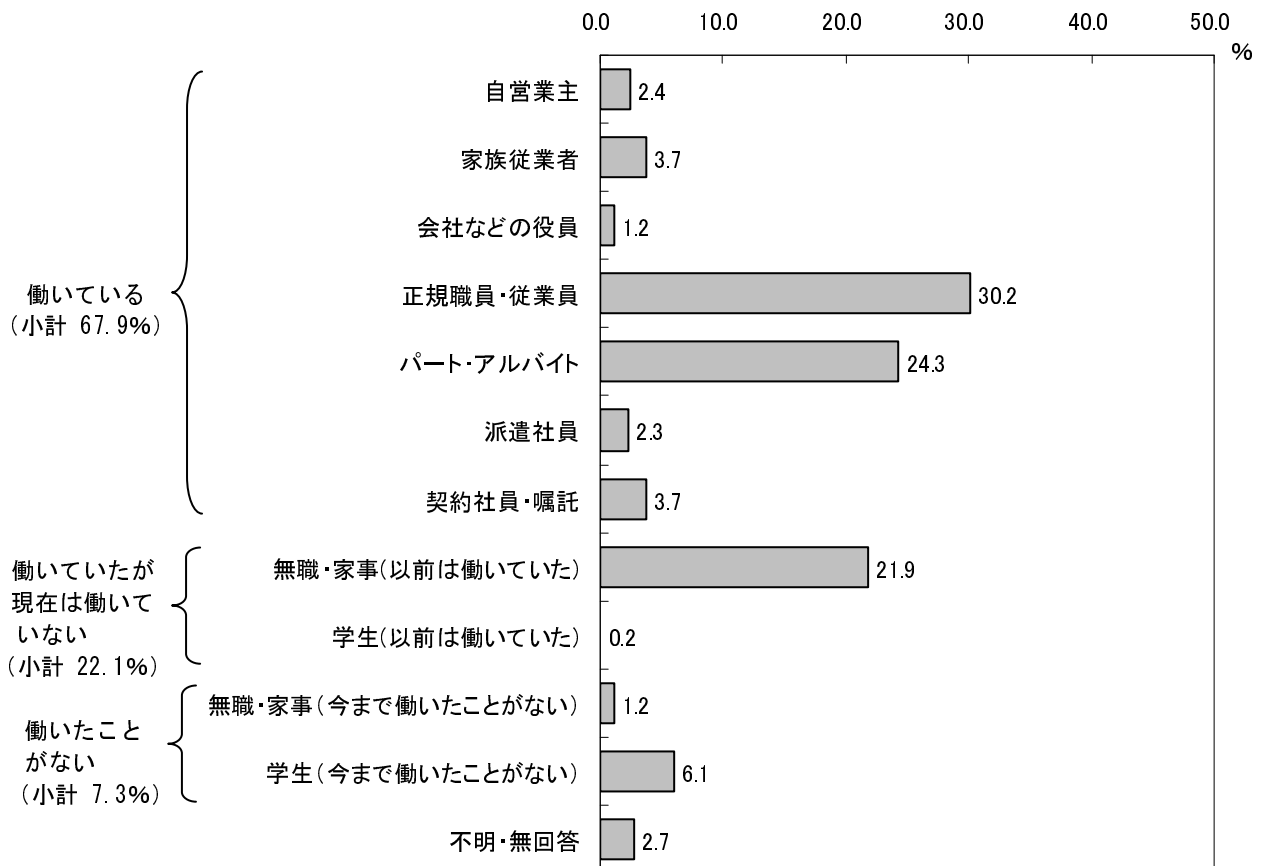
- 「働いている」(67.9%) 人のうち 30 歳代前半までは「正規職員・従業員」が、それ以降は「パート・アルバイト」「無職・家事(以前は働いていた)」の割合が高くなっている。
- 子どもの有無別にみると [いる] では、[いない] に比べ「働いていたが現在働いていない」割合が高く、「パート・アルバイト」「無職・家事(以前は働いていた)」の割合が高い。
- 末子の年齢が『7歳以上』で、「働いている」の割合が高く7割程度となっている。
- 「医療/福祉」(20.6%) 関係の業種で働く割合が高く各年齢で15%を超えている。
- 『25歳以上』で、年齢が若いほど「事務職」の割合が高い傾向にある。
- 『25歳以上』で、年齢があがるほど「奈良県内」で働く割合が高い。

a. 働いている状況 (SA)

働いている状況についてみると、「正規職員・従業員」が30.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が24.3%、「無職・家事(以前は働いていた)」が21.9%となっている。

図表2 - (1) - ①

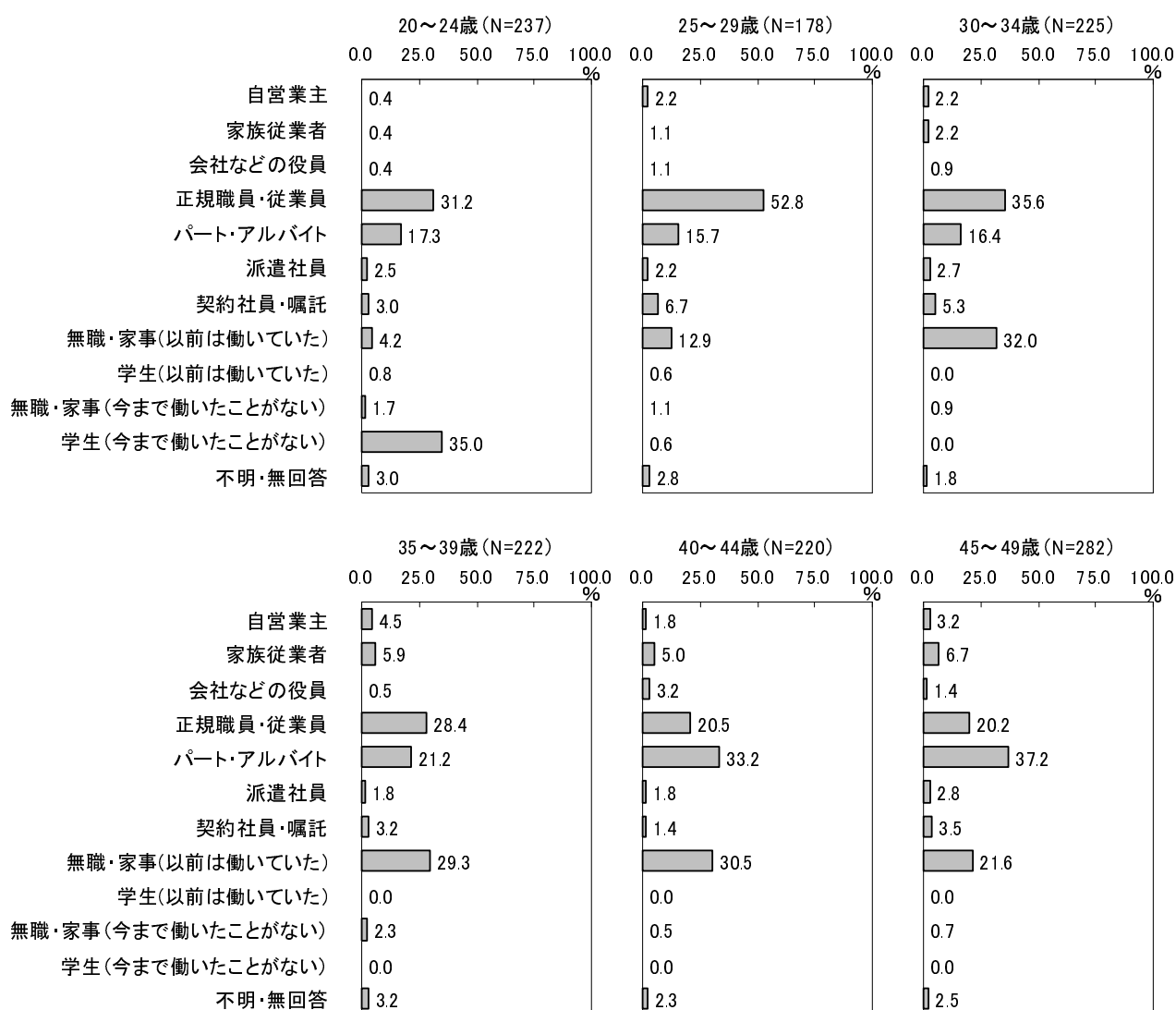
N=1,369



◆回答者の年齢別クロス

年齢別にみると、[20～24歳]では「学生(今まで働いたことがない)」、[25～34歳]では、「正規職員・従業員」、[35～39歳]では「無職・家事(以前は働いていた)」、[40～49歳]では「パート・アルバイト」が最も高くなっている。

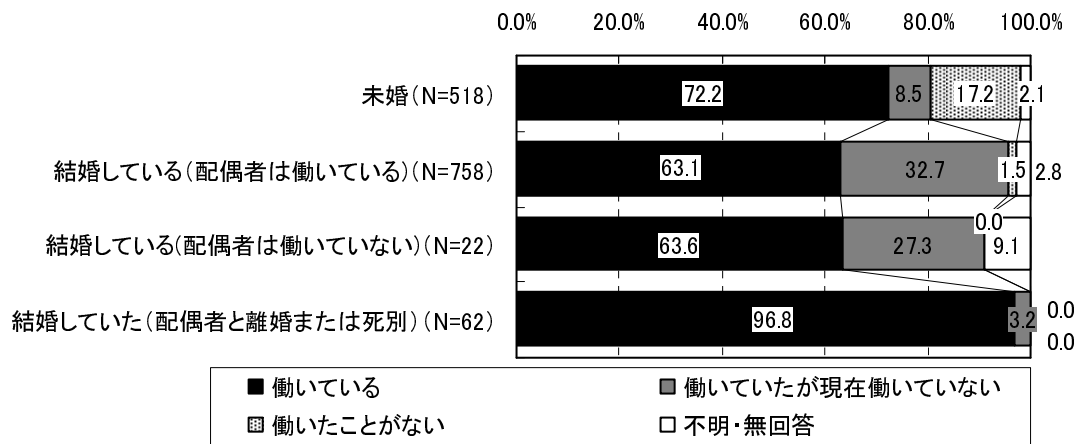
図表2 - (1) - ②



◆婚姻状況別クロス

婚姻状況別にみると、「結婚している（配偶者は働いている）」「結婚している（配偶者は働いていない）」では他の階層より「働いていたが現在働いていない」の割合が高くなっている。

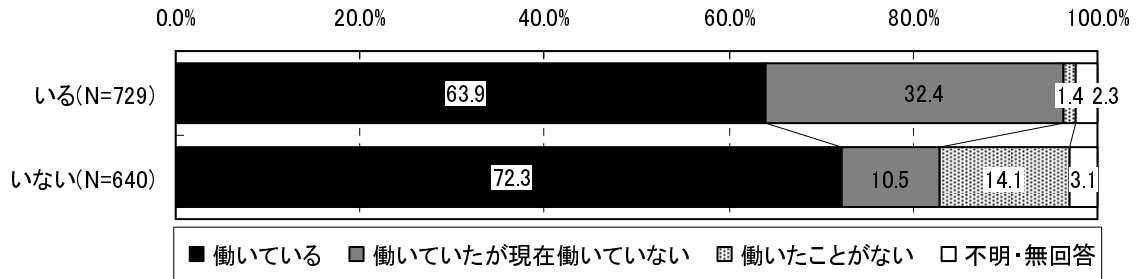
図表 2 - (1) - ③



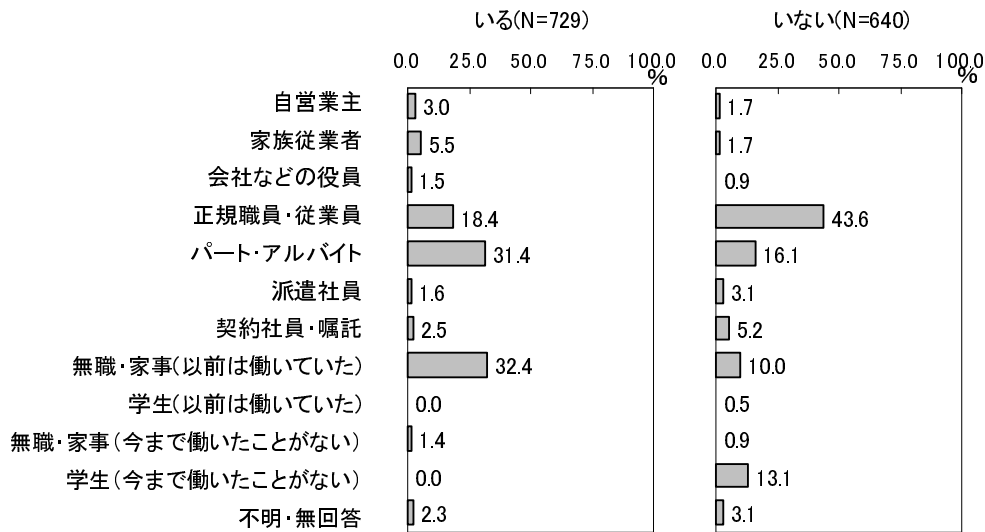
◆子どもの有無別クロス

子どもの有無別にみると、[いる] では [いない] より「働いていたが現在働いていない」の割合が高くなっている。また、[いる] では「パート・アルバイト」「無職・家事（以前は働いていた）」、[いない] では「正規職員・従業員」の割合が高くなっている。

図表 2 - (1) - ④



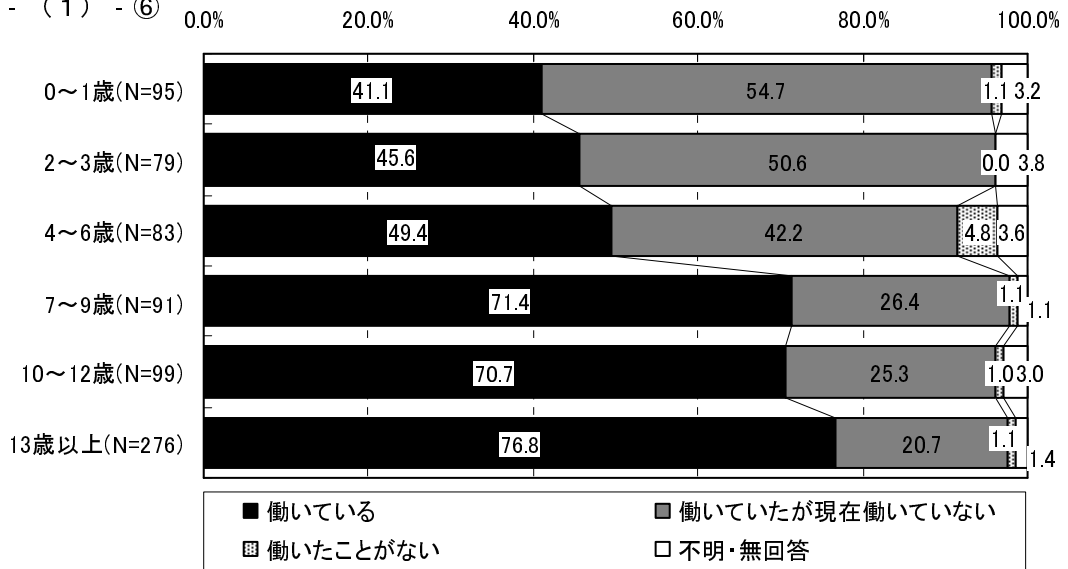
図表 2 - (1) - ⑤



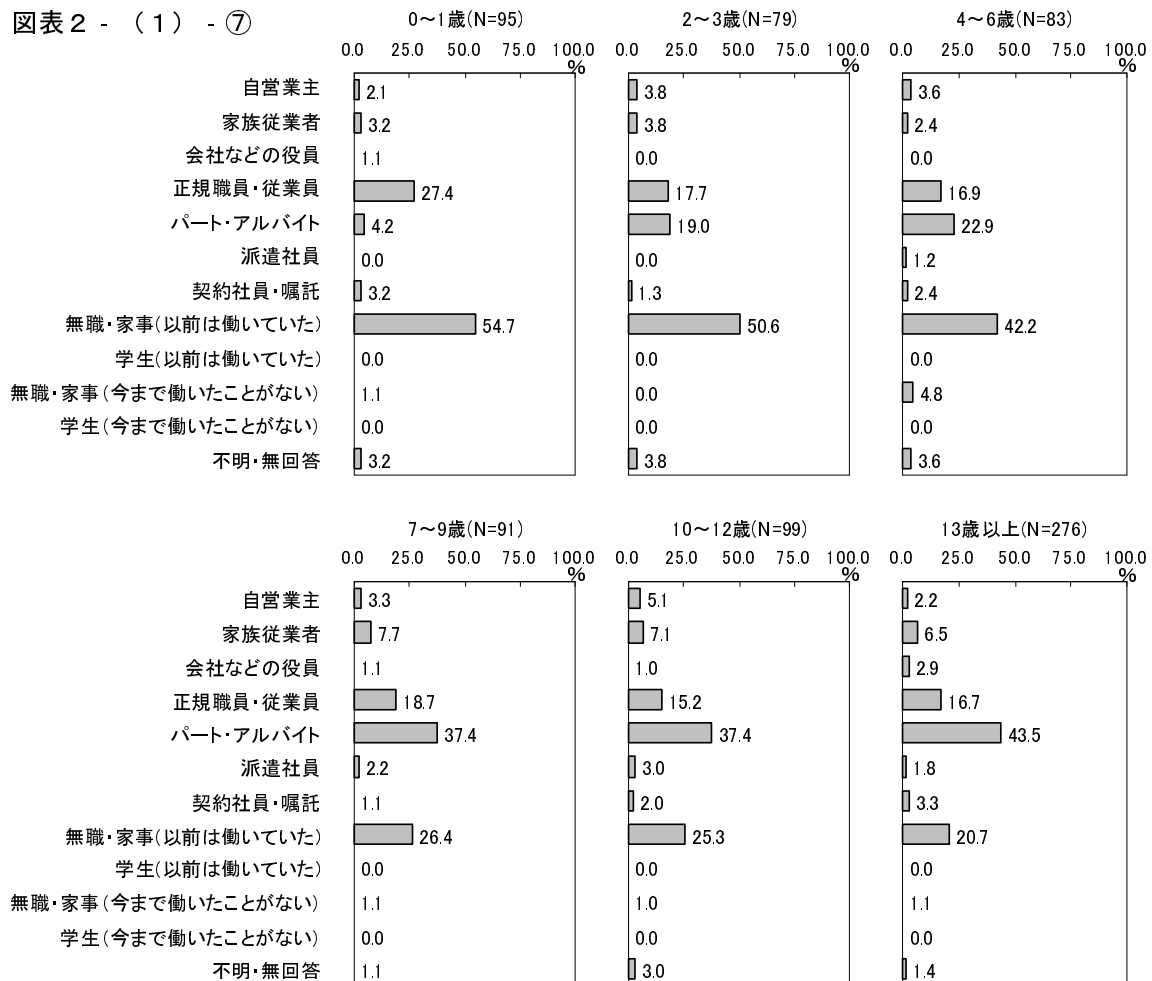
◆末子の年齢別クロス

末子の年齢別にみると、『0～3歳』では、「働いていたが現在働いていない」、「4歳以上」では「働いている」が最も高くなっている。また、年齢が上がるにつれて、「無職・家事（以前は働いていた）」が減少する傾向にある。

図表 2 - (1) - ⑥



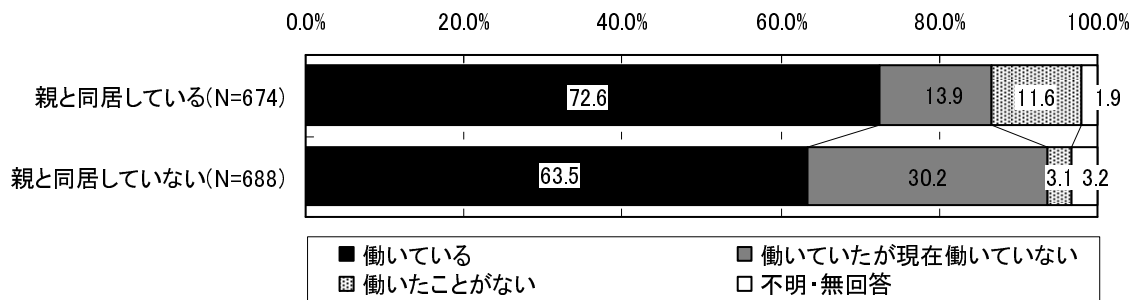
図表 2 - (1) - ⑦



◆親との同居状況別クロス

親との同居状況別にみると、「親と同居している」より「親と同居していない」の方が「働いていたが現在働いていない」の割合が高くなっている。

図表 2 - (1) - ⑧



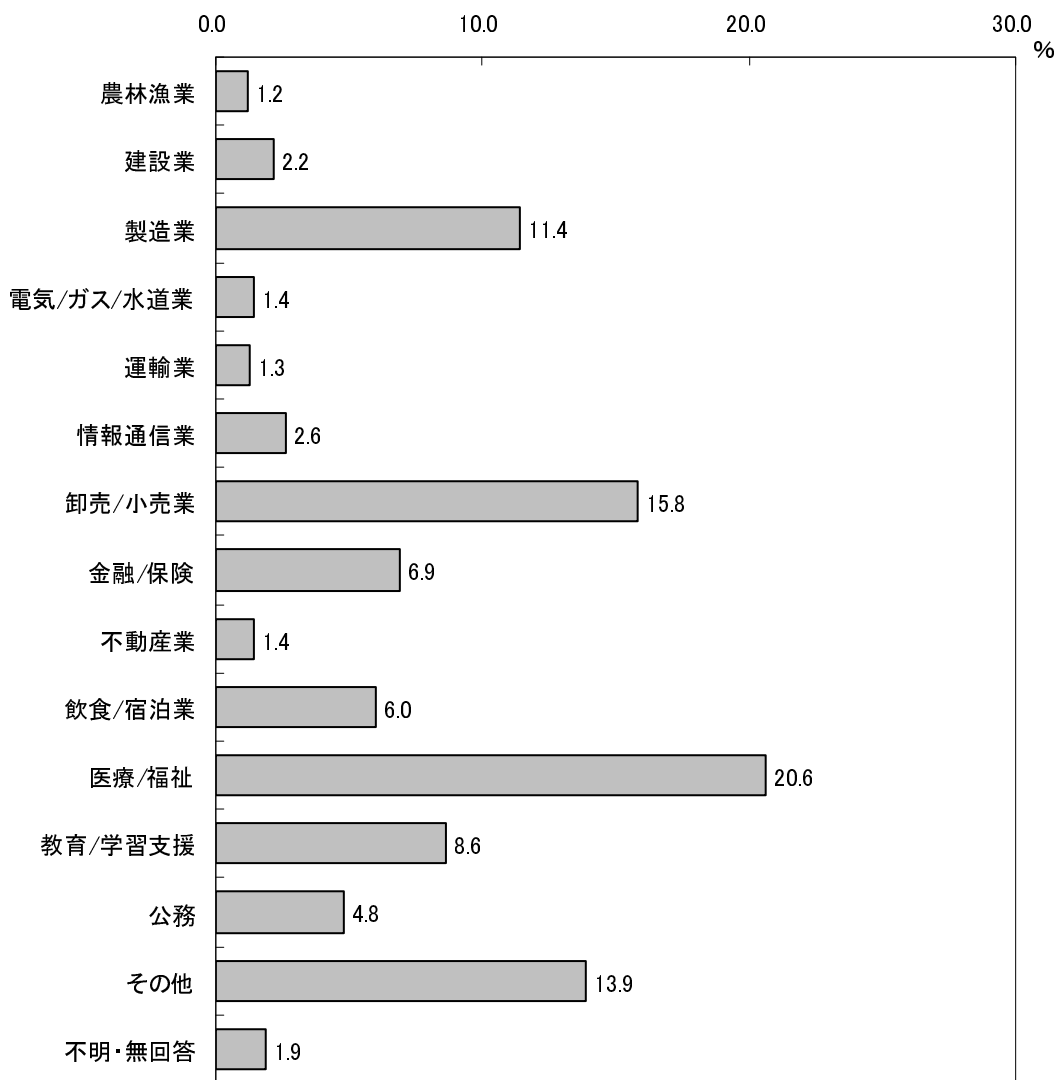
b～cは「自営業主」～「契約社員・嘱託」と回答された方のみ

b. 働いている業種 (SA)

働いている業種についてみると、「医療/福祉」が20.6%と最も高く、次いで「卸売/小売業」が15.8%となっている。

図表2 - (2) - ①

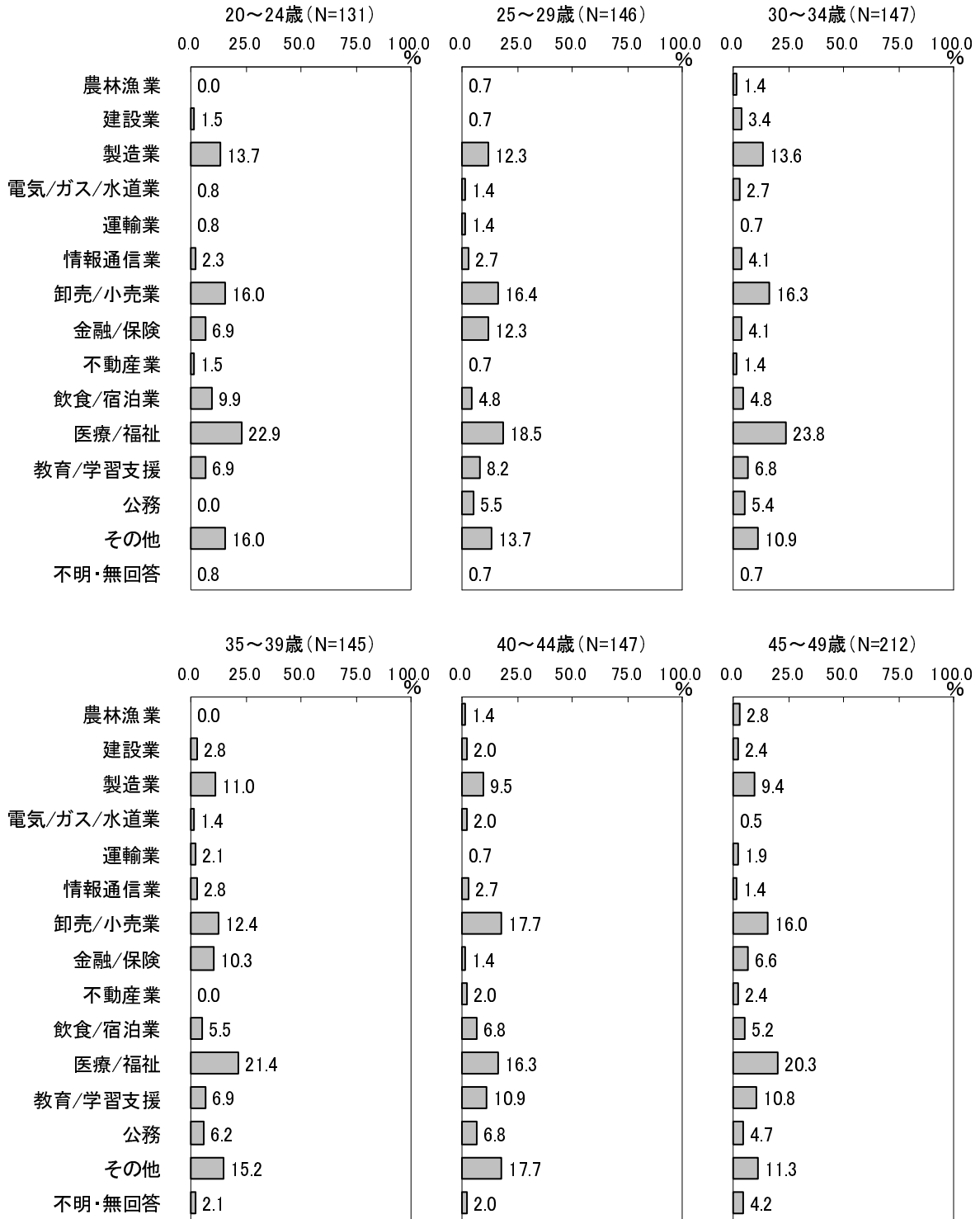
N=929



◆回答者の年齢別クロス

年齢別にみると、[40～44歳] 以外では「医療/福祉」が最も高くなっている。

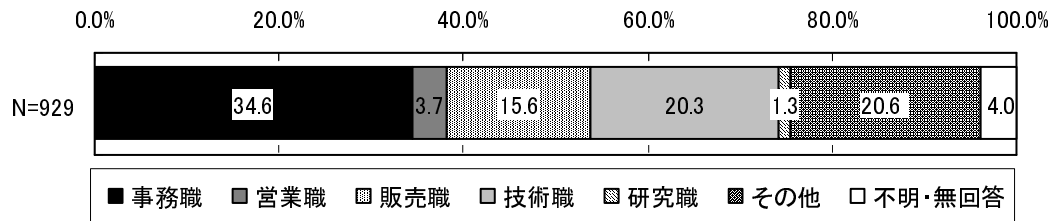
図表2 - (2) - ②



c. 働いている職種 (SA)

働いている職種についてみると、「事務職」が34.6%と最も高くなっている。

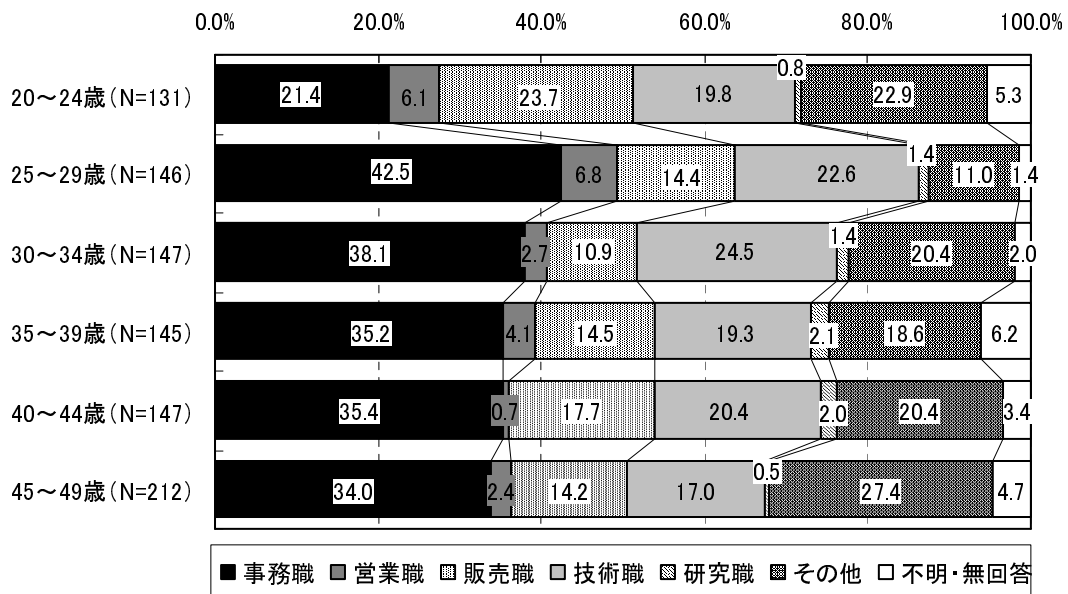
図表2 - (3) - ①



◆回答者の年齢別クロス

年齢別にみると、[20～24歳] 以外では各階層とも「事務職」の割合が最も高くなっている。

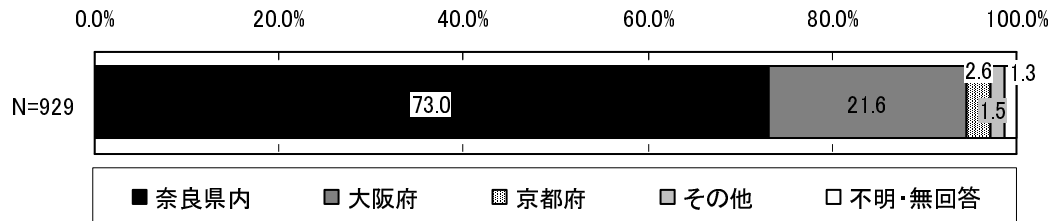
図表2 - (3) - ②



d. 働いている地域 (SA)

働いている地域についてみると、「奈良県内」が73.0%と最も高く、次いで「大阪府」が21.6%となっている。

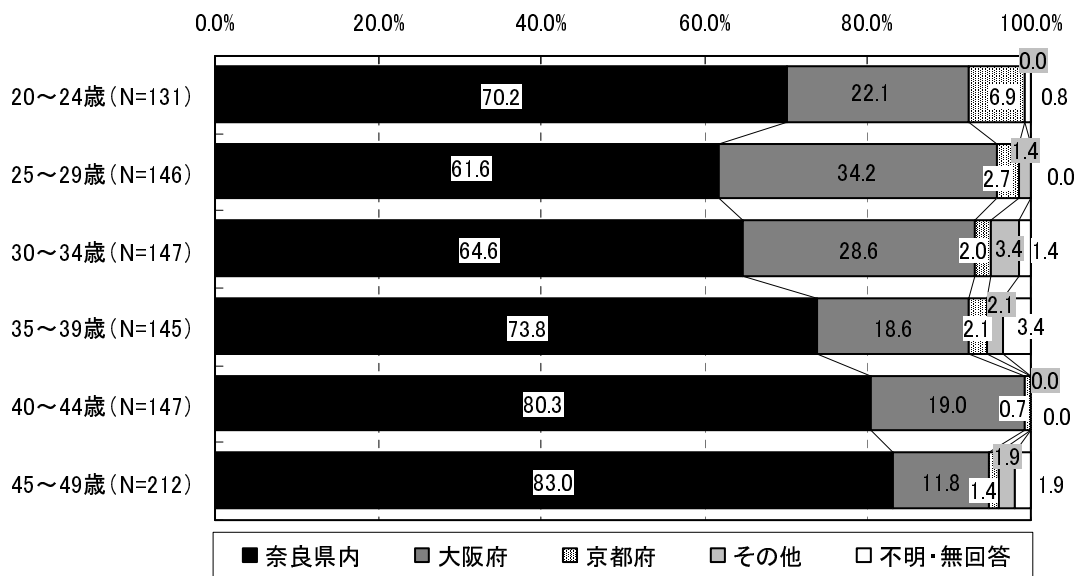
図表 2 - (4) - ①



◆回答者の年齢別クロス

年齢別にみると、『25歳以上』では、年齢が上がるにつれて「奈良県内」の割合が高くなる傾向にある。

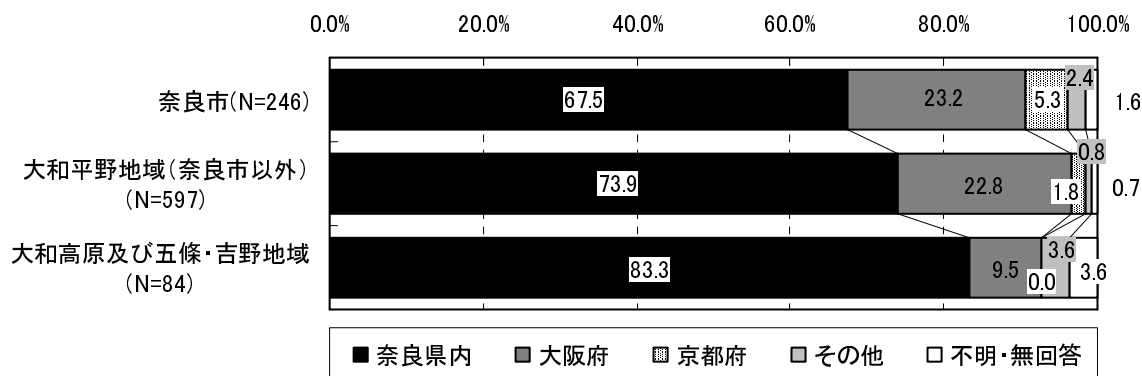
図表 2 - (4) - ②



◆居住地別クロス

居住地別にみると、[大和高原及び五條・吉野地域]では、他の階層より「大阪府」の割合が低くなっている。

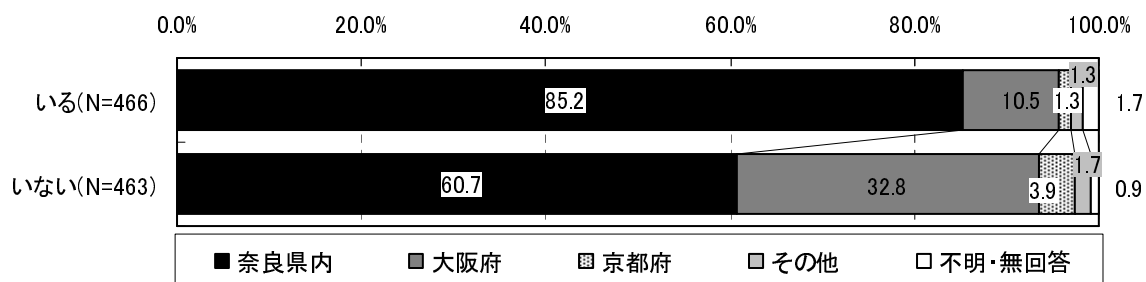
図表 2 - (4) - ③



◆子どもの有無別クロス

子どもの有無別にみると、[いる]では、[いない]にくらべて「大阪府」の割合が低くなっている。

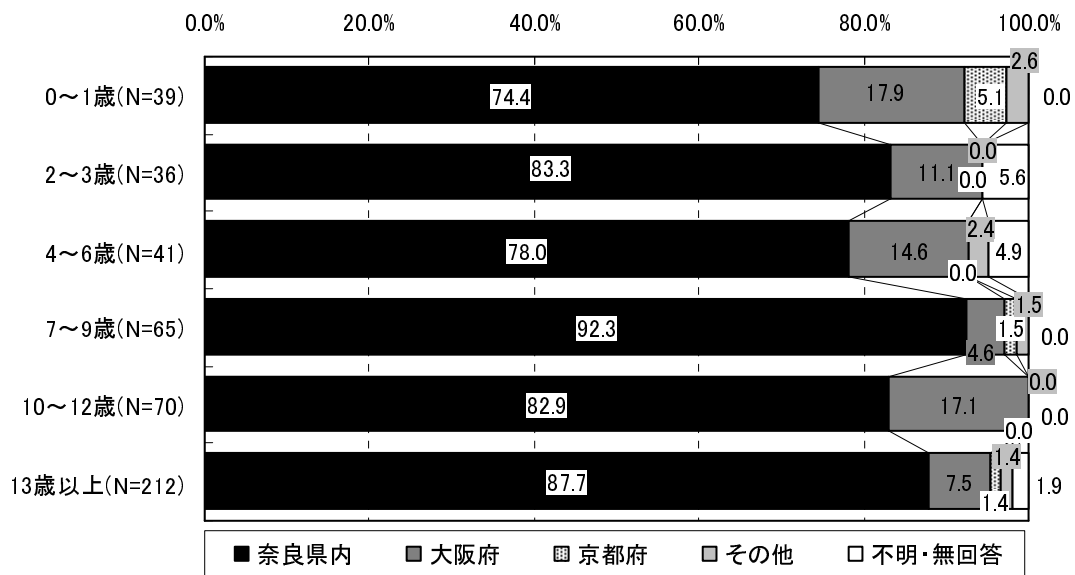
図表 2 - (4) - ④



◆末子の年齢別クロス

末子の年齢別にみると、各階層とも「奈良県内」の割合が最も高く7割以上を占めている。

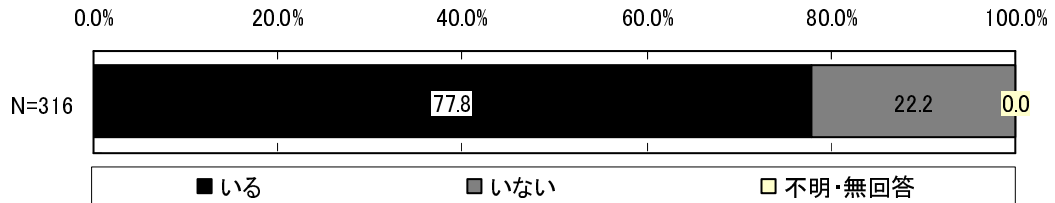
図表2 - (4) - ⑤



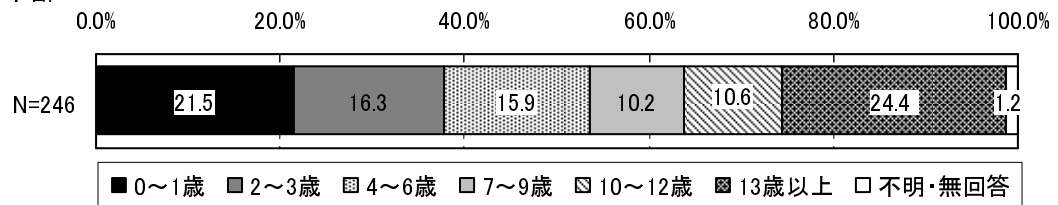
《働いていない人の状況》

「無職・家事(以前は働いていた)」、「無職・家事(今まで働いたことがない)」人の状況は以下の通りとなっている。

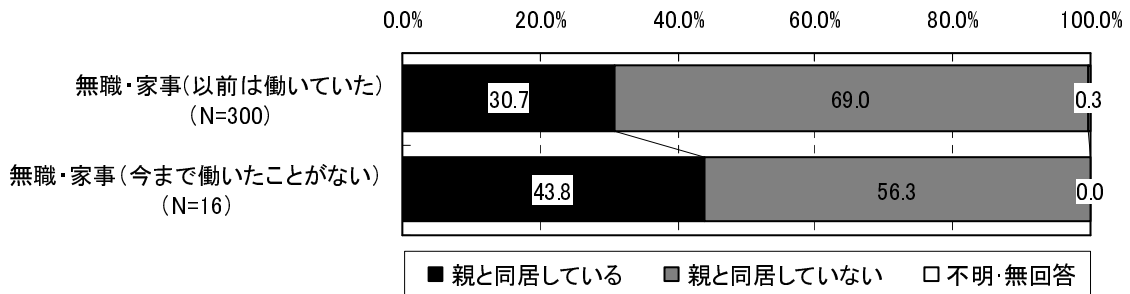
●子どもの有無 図表2-(5)-①



●末子の年齢 図表2-(5)-②

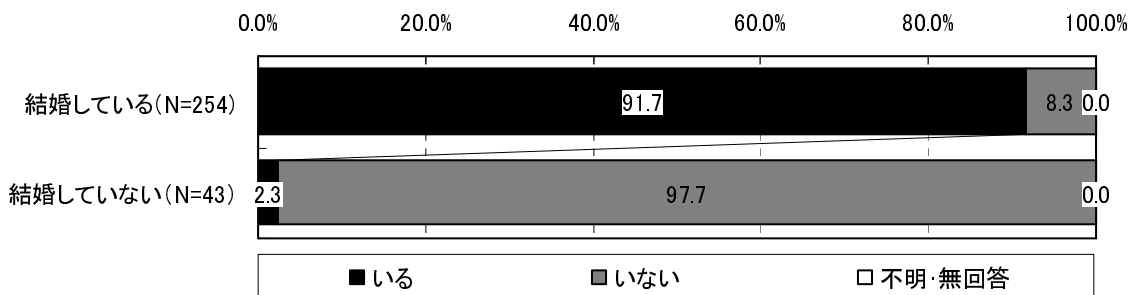


●親との同居状況 図表2-(5)-③



働いていない人のなかでも、「無職・家事(以前は働いていた)」人の状況は以下の通りとなっている。

●子どもの有無について婚姻状況別クロス 図表2-(5)-④

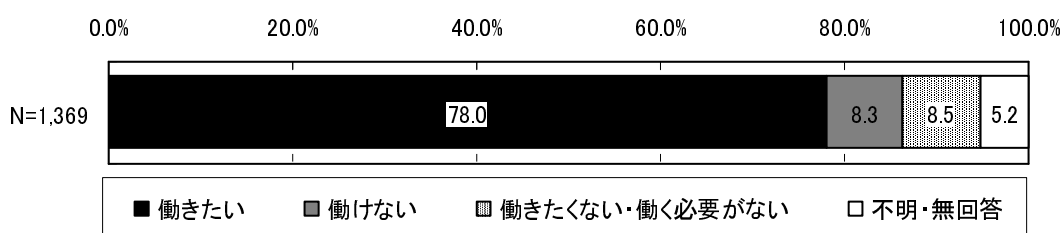


問7 あなたの仕事に対する考えや思いについてお聞きします。今後あなたは働きたい（働き続けたい）ですか。（SA）

○全体の約8割の人が今後の就業意欲を持っており、[働いている][働いたことがない]人では8割以上が意欲を持っている。

今後の就労意向についてみると、「働きたい」が78.0%と最も高く、次いで「働きたくない・働く必要がない」が8.5%となっている。

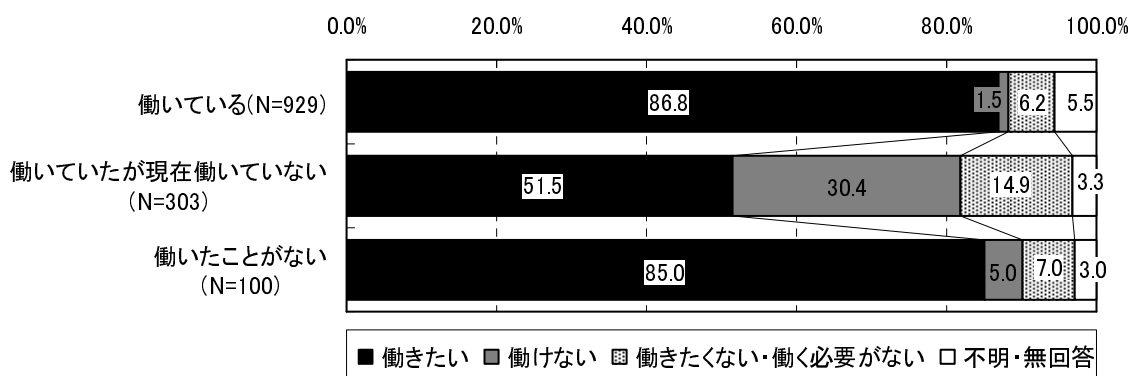
図表2 - (6) - ①



◆就労状況別クロス

就労状況別にみると、「働いていたが現在働いていない」では、他の階層より「働きたい」の割合が低くなっており、「働けない」の割合が高くなっている。

図表2 - (6) - ②

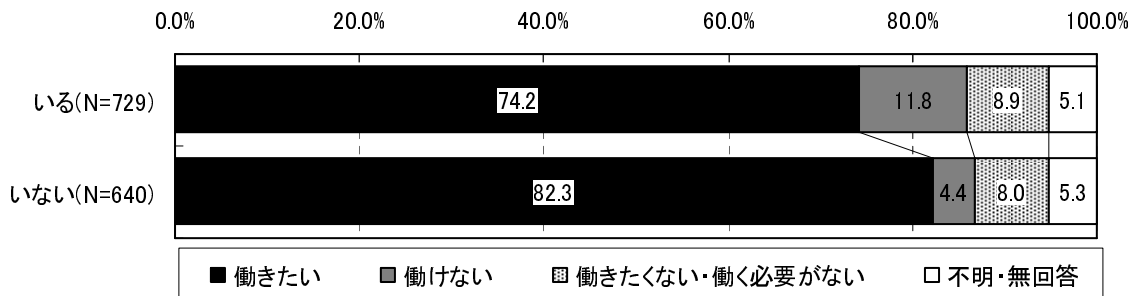


※ [働いていたが現在働いていない] には、「学生(今まで働いたことがない)」、[働いたことがない] には、「学生(以前は働いていた)」を含む

◆子どもの有無別クロス

子どもの有無別にみると、[いる] [いない] とともに「働きたい」の割合が最も高く、7割以上を占めている。

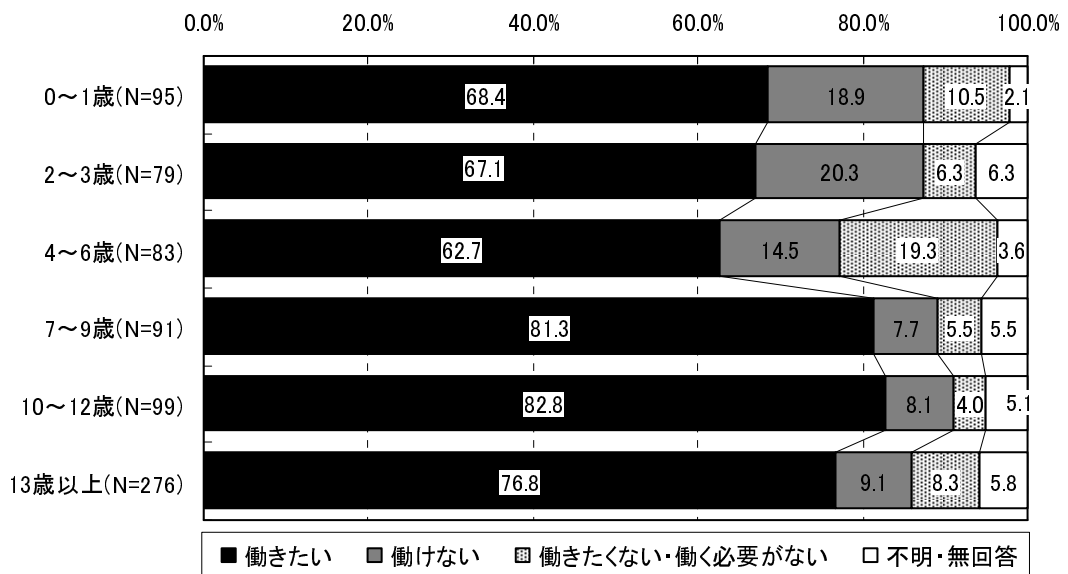
図表 2 - (6) - ③



◆末子の年齢別クロス

末子の年齢別にみると、各階層とも「働きたい」の割合が最も高くなっている。一方、[2～3歳]では「働けない」の割合が2割を超えており、『6歳以下』で「働けない」の割合が他の階層より高くなっている。

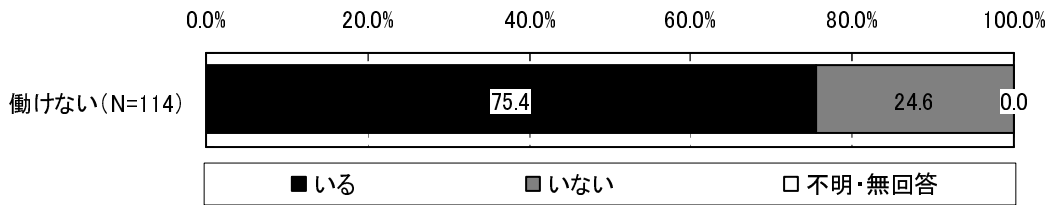
図表 2 - (6) - ④



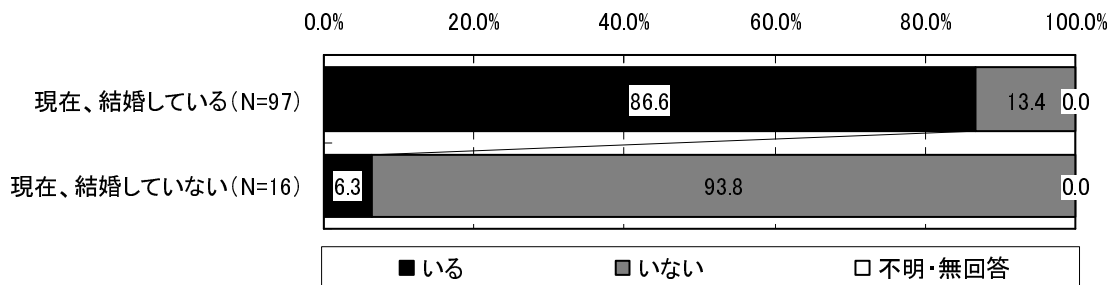
◀ 「働けない」と答えた方の状況 ▶

「働けない」と答えた人の状況は以下の通りとなっている。

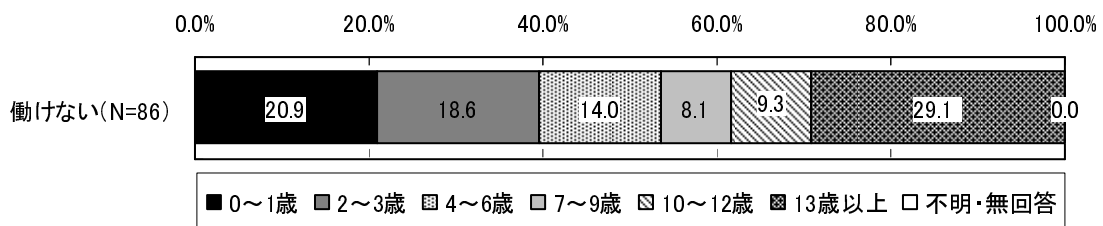
● 子どもの有無別クロス 図表2 - (6) - ⑤



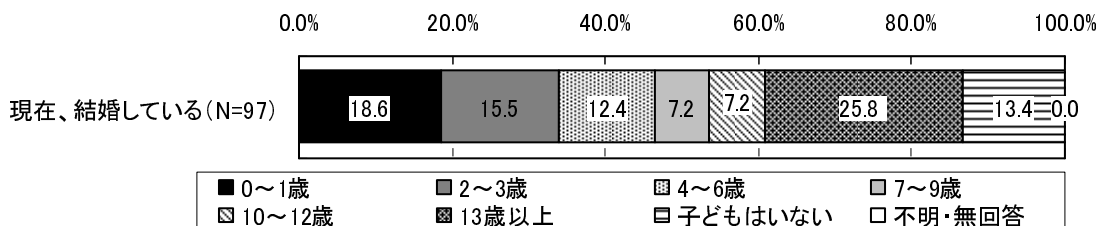
● 子どもの有無について婚姻状況別クロス 図表2 - (6) - ⑥



● 末子の年齢別クロス 図表2 - (6) - ⑦



● 現在、結婚している人の末子の年齢別クロス 図表2 - (6) - ⑧



問8 その理由はなんですか。

○「子どもの育児や教育への専念」(41.2%)が最も高く、出産や育児、家事、介護に関連する理由が高くなっている。また、「賃金や雇用形態、勤務時間などの条件の合う仕事がないため」(21.9%)と「健康上の理由」(19.3%)も比較的高くなっている。

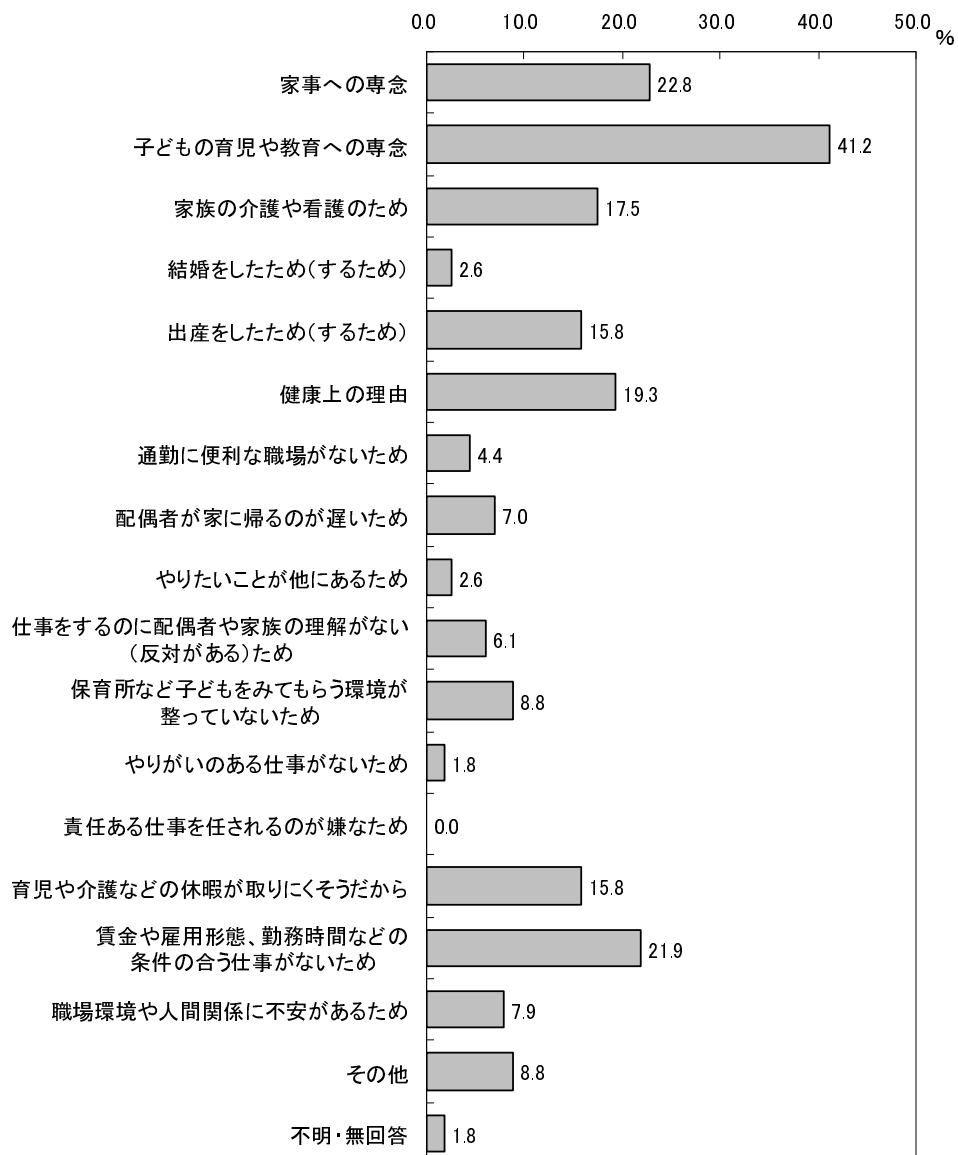
問7で「働けない」と回答された方のみ

①「働けない」理由 (MA)

働けない理由についてみると、「子どもの育児や教育への専念」が41.2%と最も高く、次いで「家事への専念」が22.8%、「賃金や雇用形態、勤務時間などの条件の合う仕事がないため」が21.9%となっている。

図表2 - (7) - ①

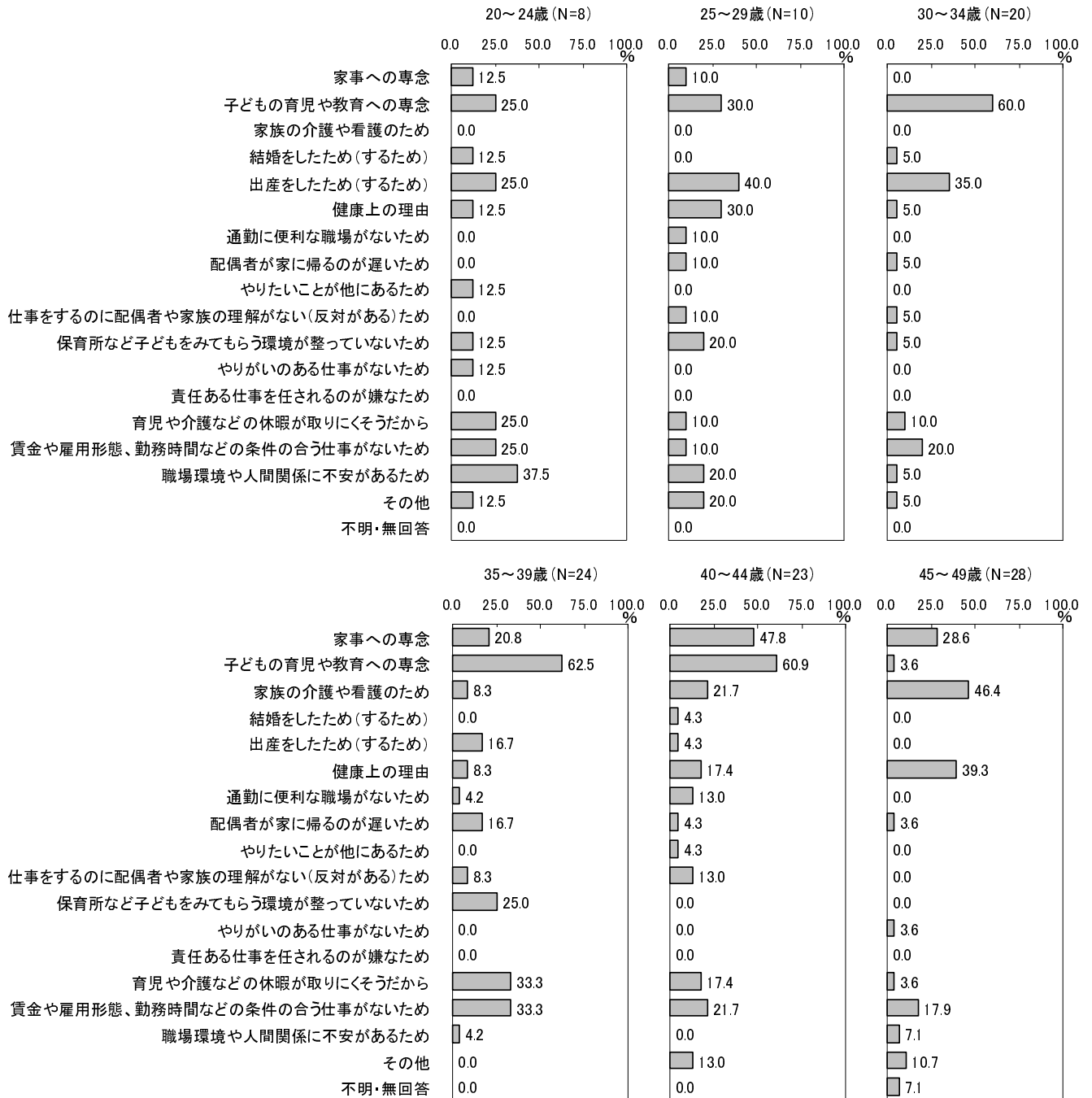
N=114



◆回答者の年齢別クロス

年齢別にみると、『30～44 歳』までは「子どもの育児や教育への専念」の割合が最も高くなっている。

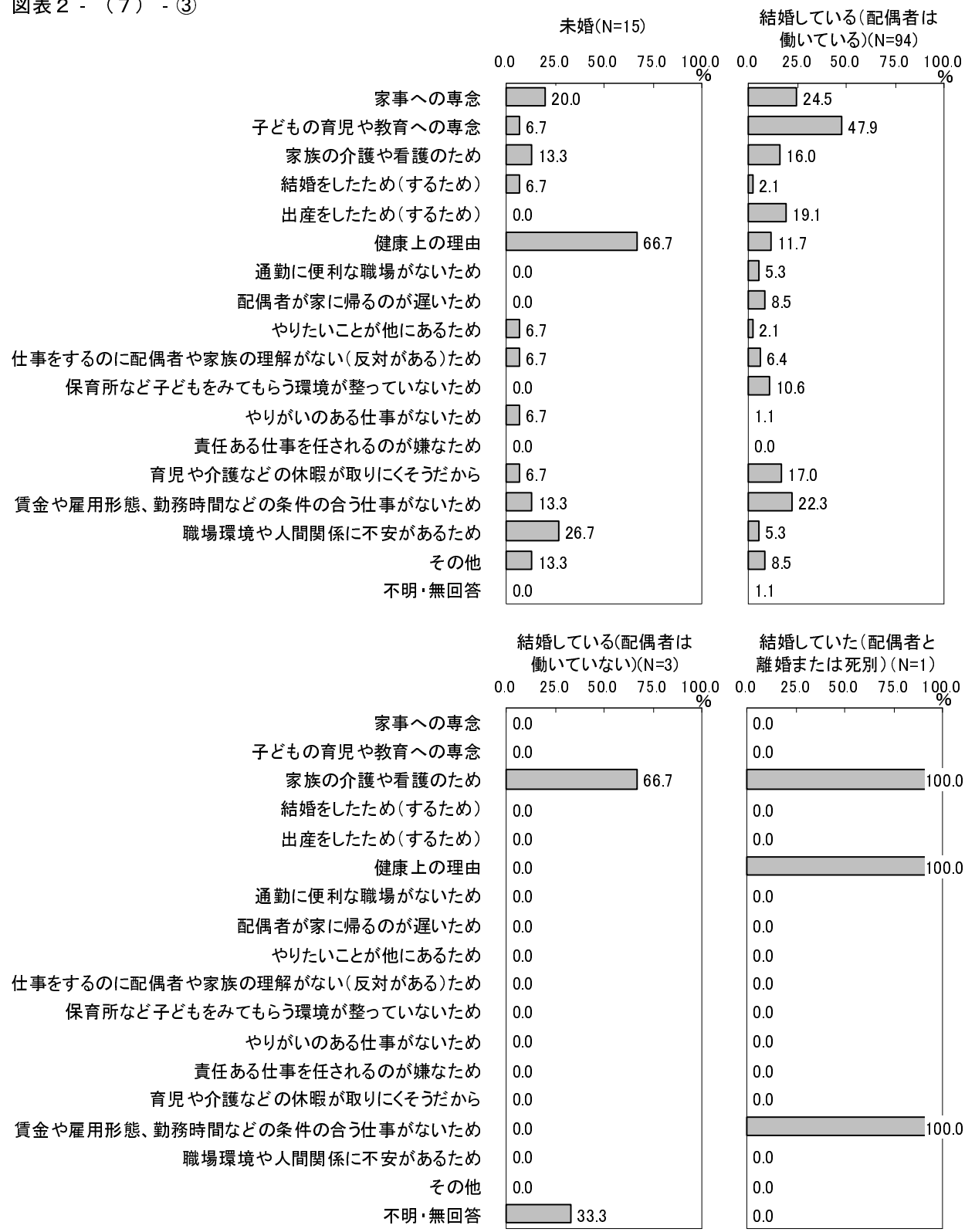
図表 2 - (7) - ②



◆婚姻状況別クロス

婚姻状況別にみると、「結婚している（配偶者は働いている）」では「子どもの育児や教育への専念」の割合が最も高くなっている。

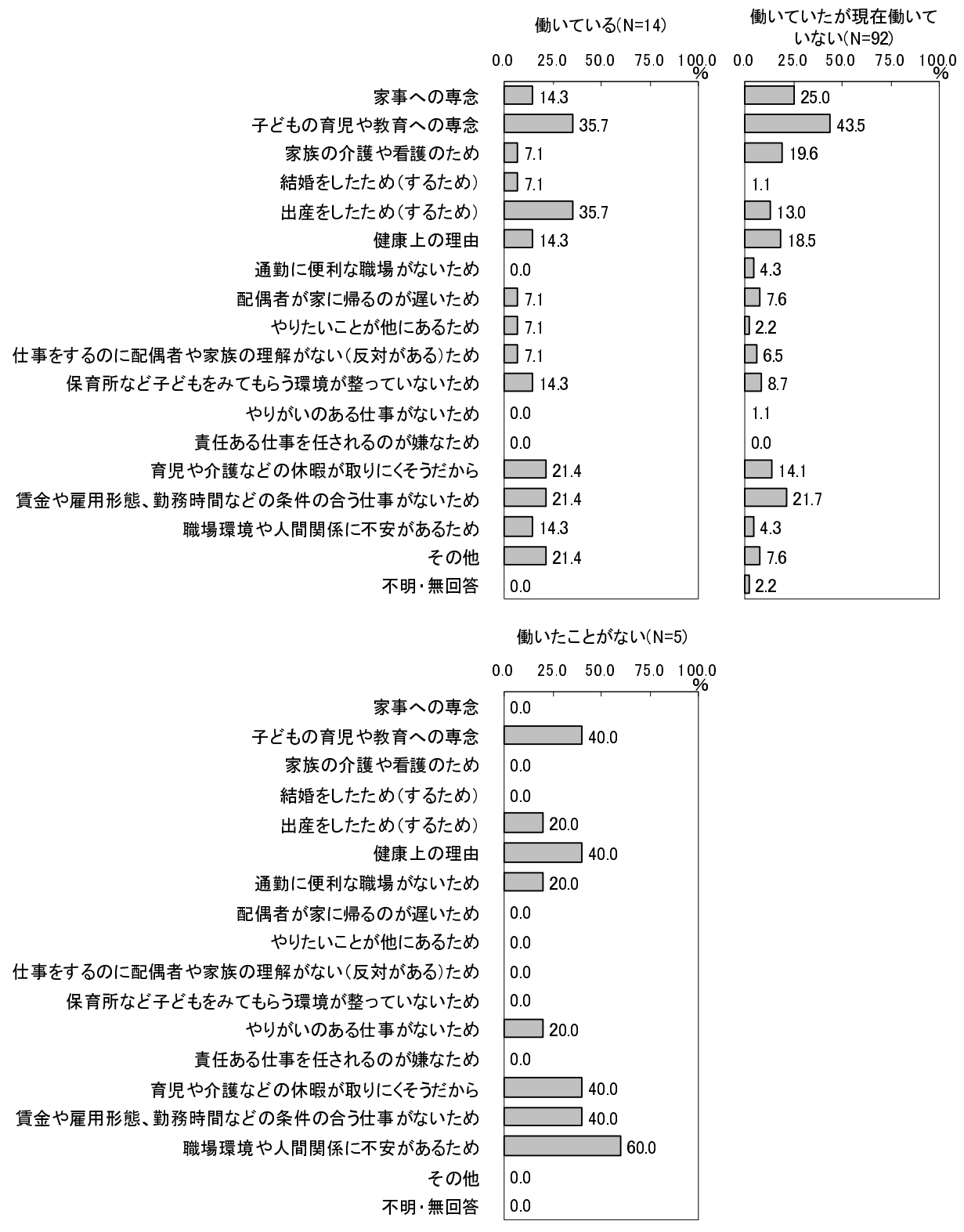
図表2 - (7) - ③



◆就労状況別クロス

就労状況別にみると、「働いている」、「働いていたが現在働いていない」では「子どもの育児や教育への専念」が高くなっている。

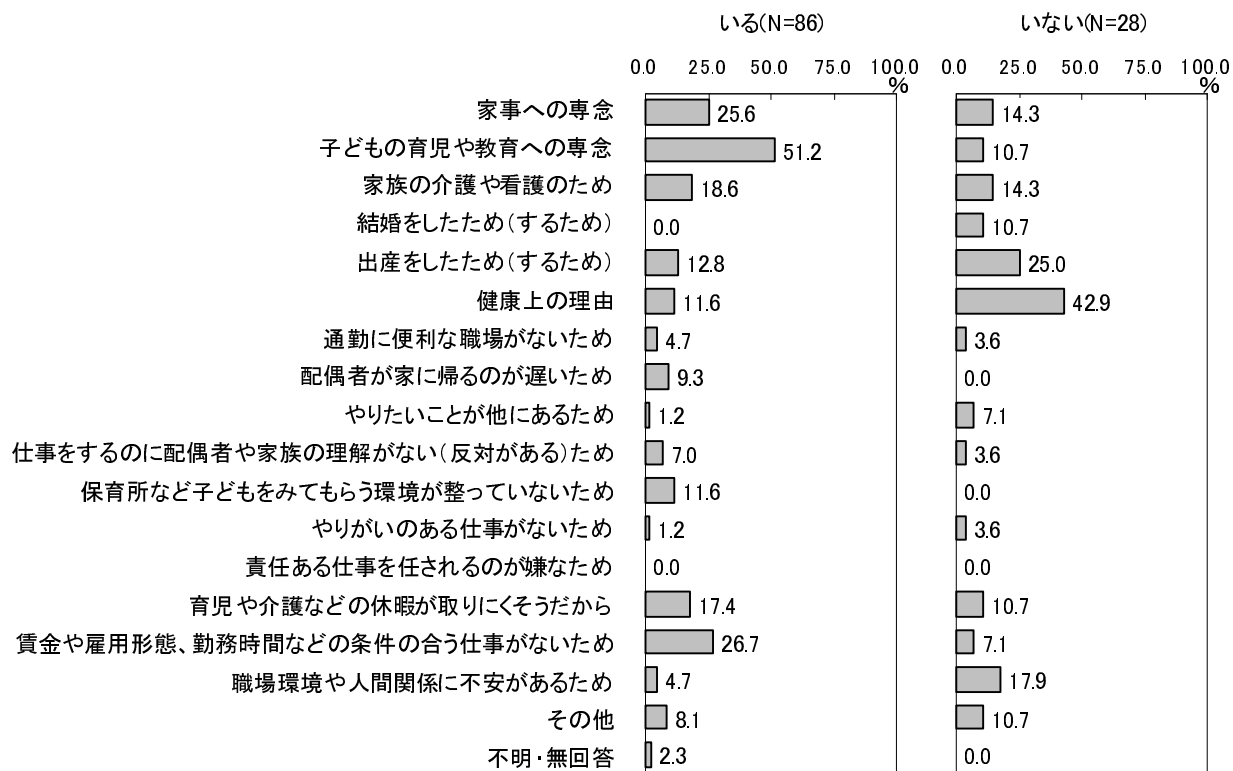
図表 2 - (7) - ④



◆子どもの有無別クロス

子どもの有無別にみると、[いる] では「子どもの育児や教育への専念」、[いない] では「健康上の理由」の割合が最も高くなっている。

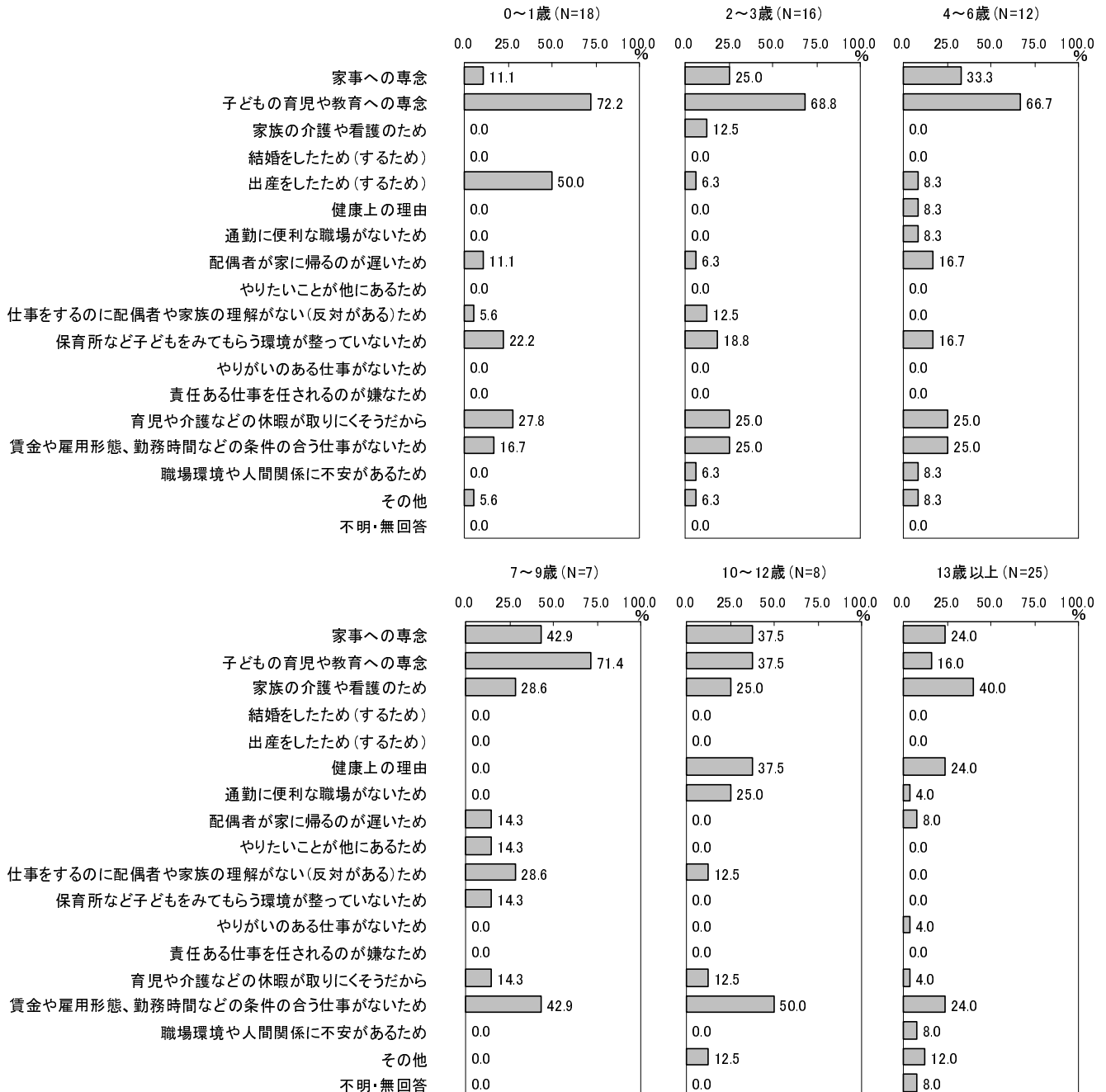
図表 2 - (7) - ⑤



◆末子の年齢別クロス

末子の年齢別にみると、[10～12歳] [13歳以上] 以外では各階層とも「子どもの育児や教育への専念」の割合が高くなっている。

図表2 - (7) - ⑥



問7で「働きたくない・働く必要がない」と回答された方のみ

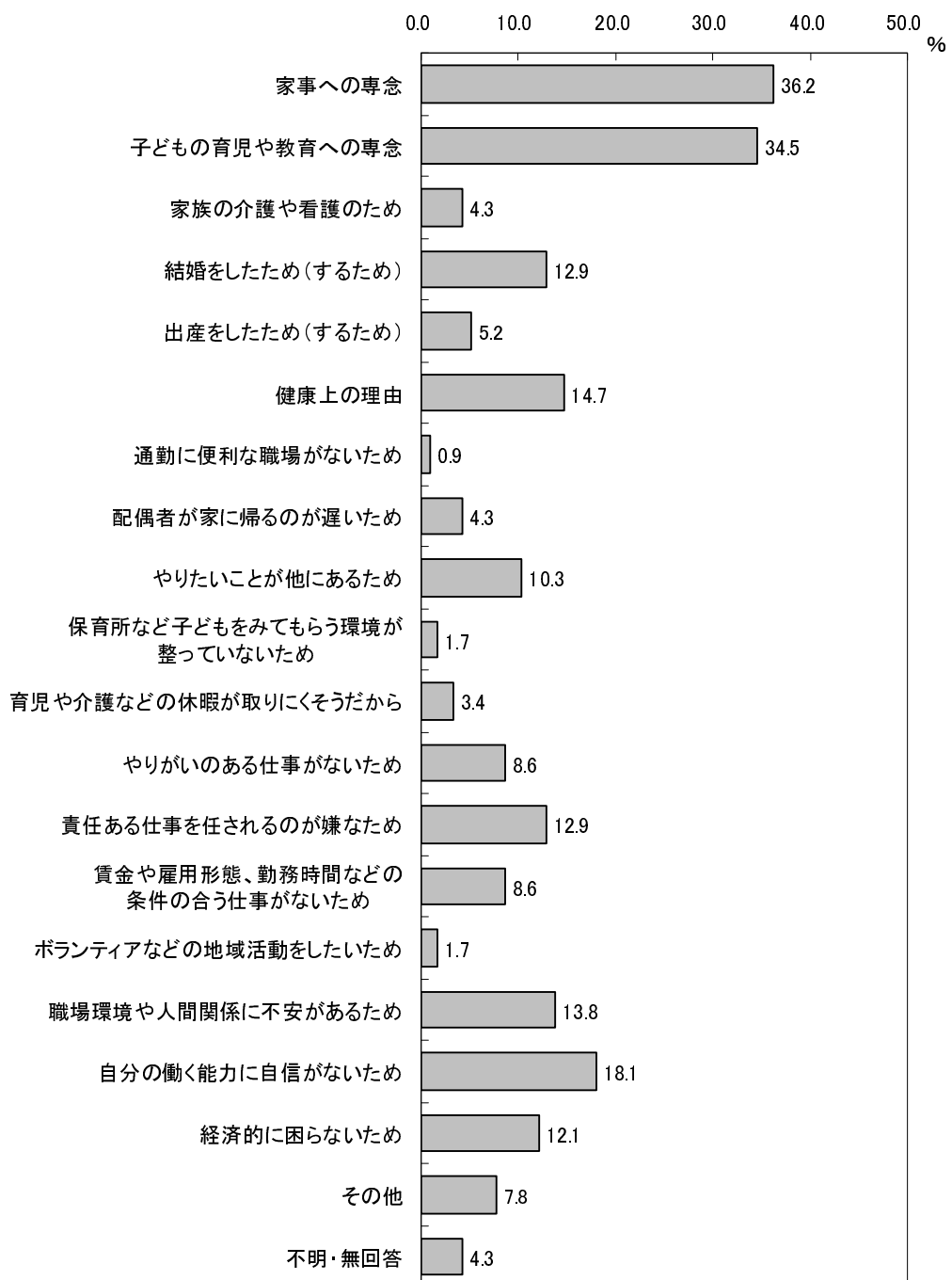
②「働きたくない・働く必要がない」理由（MA）

○「家事への専念」「子どもの育児や教育への専念」が3割を超えて特に高く、[働いていたが現在働いていない]で特に割合が高くなっている。

働きたくない・働く必要がない理由についてみると、「家事への専念」が36.2%と最も高く、次いで「子どもの育児や教育への専念」が34.5%、「自分の働く能力に自信がないため」が18.1%となっている。

図表2 - (8) - ①

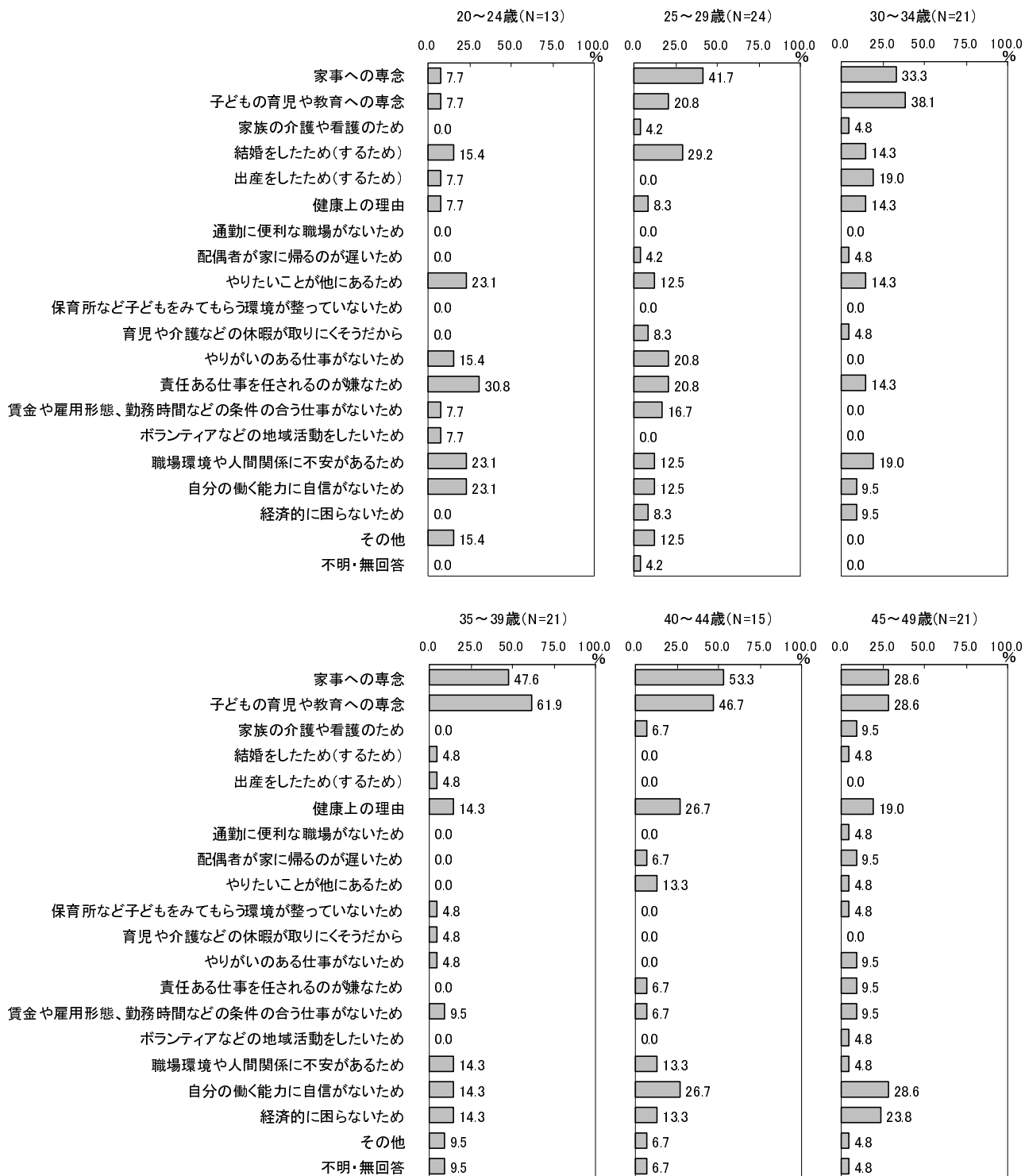
N=116



◆回答者の年齢別クロス

年齢別にみると、『30歳代』では「子どもの育児や教育への専念」、[25～29歳]『40歳代』では「家事への専念」の割合が高くなっている。

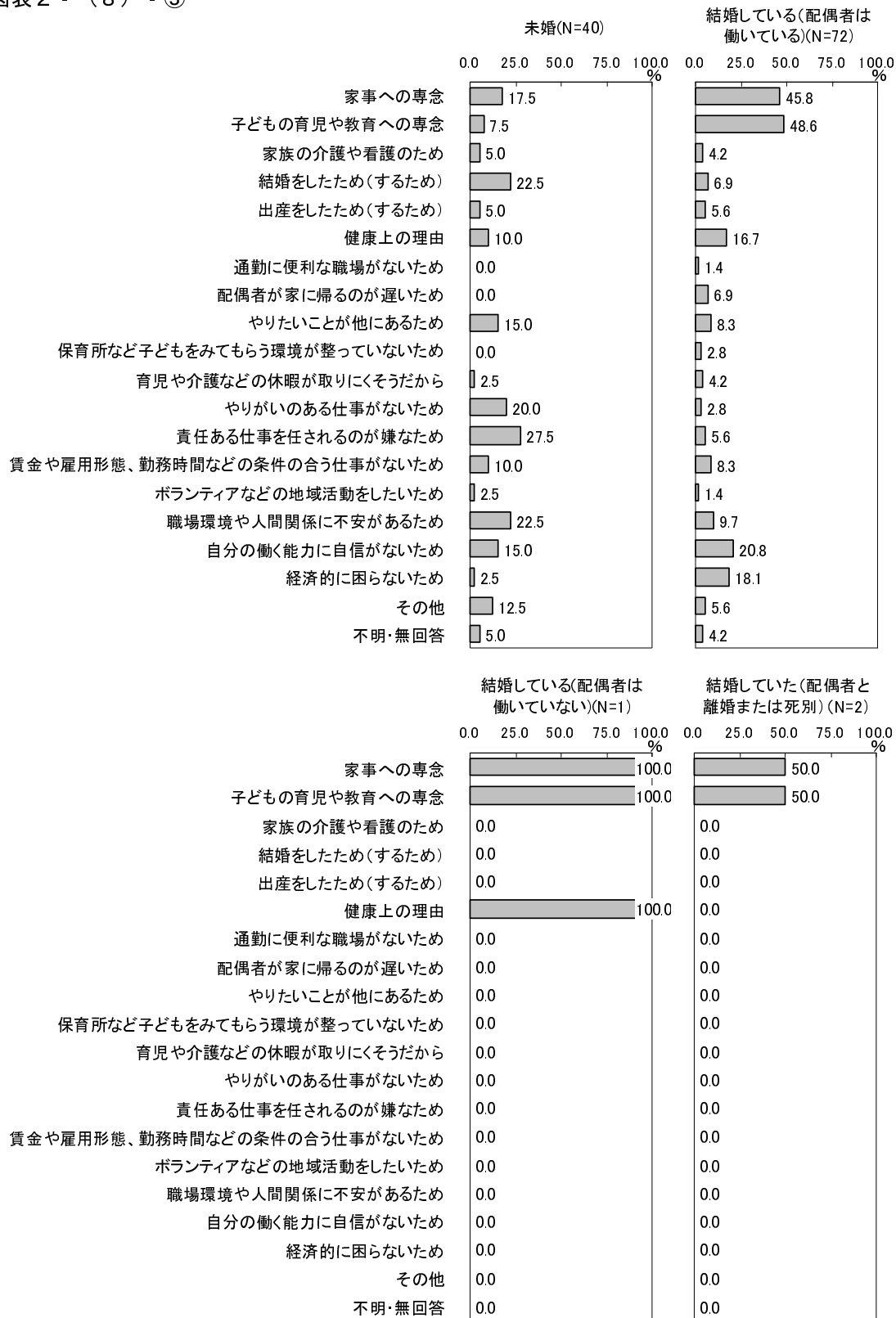
図表2 - (8) - ②



◆婚姻状況別クロス

婚姻状況別にみると、「未婚」以外では各階層とも「家事への専念」「子どもの育児や教育への専念」の割合が高くなっている。

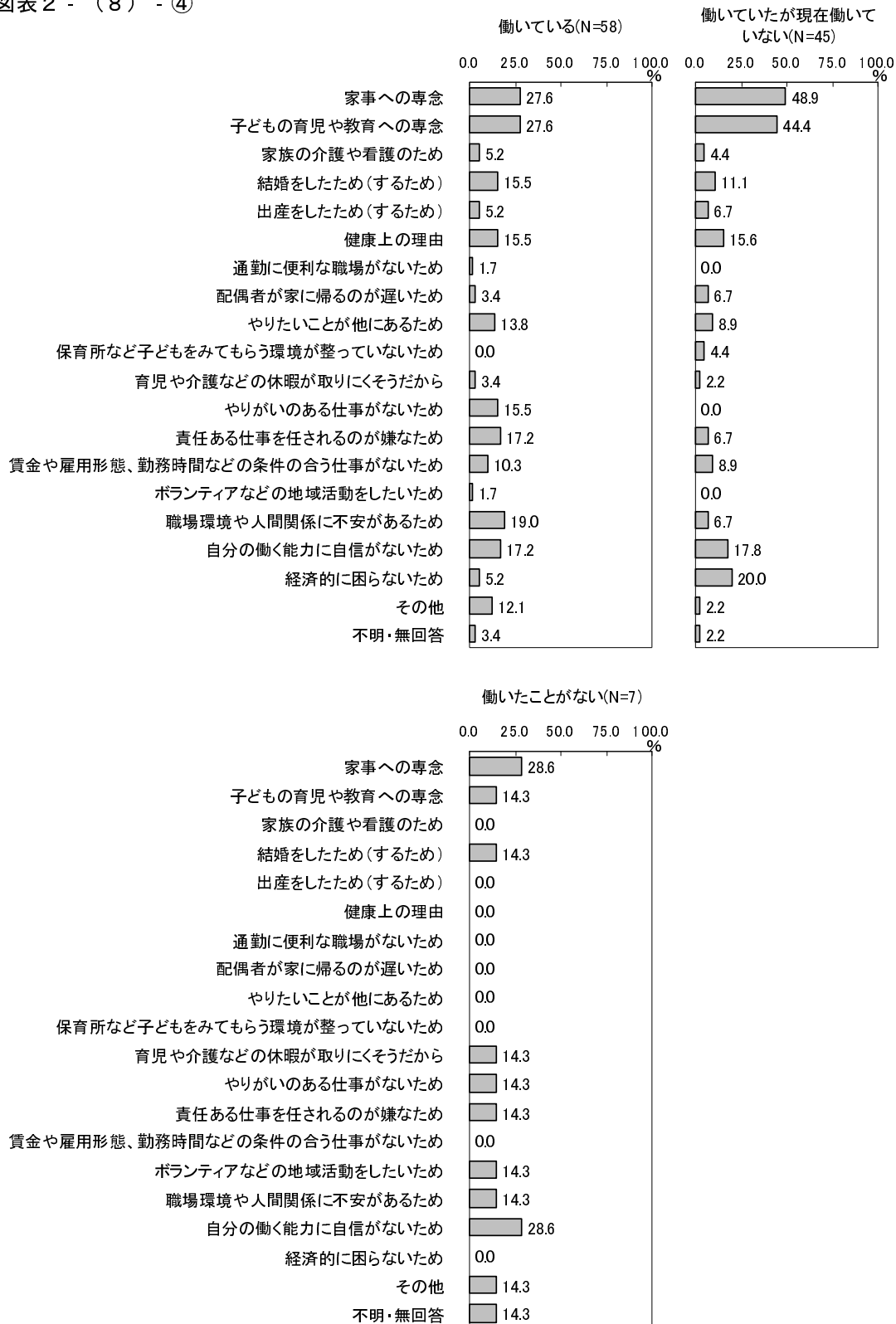
図表 2 - (8) - ③



◆就労状況別クロス

就労状況別にみると、各階層ともに「家事への専念」の割合が高くなっているが、[働いている] [働いていたが現在働いていない] では「子どもの育児や教育への専念」の割合も高くなっている。

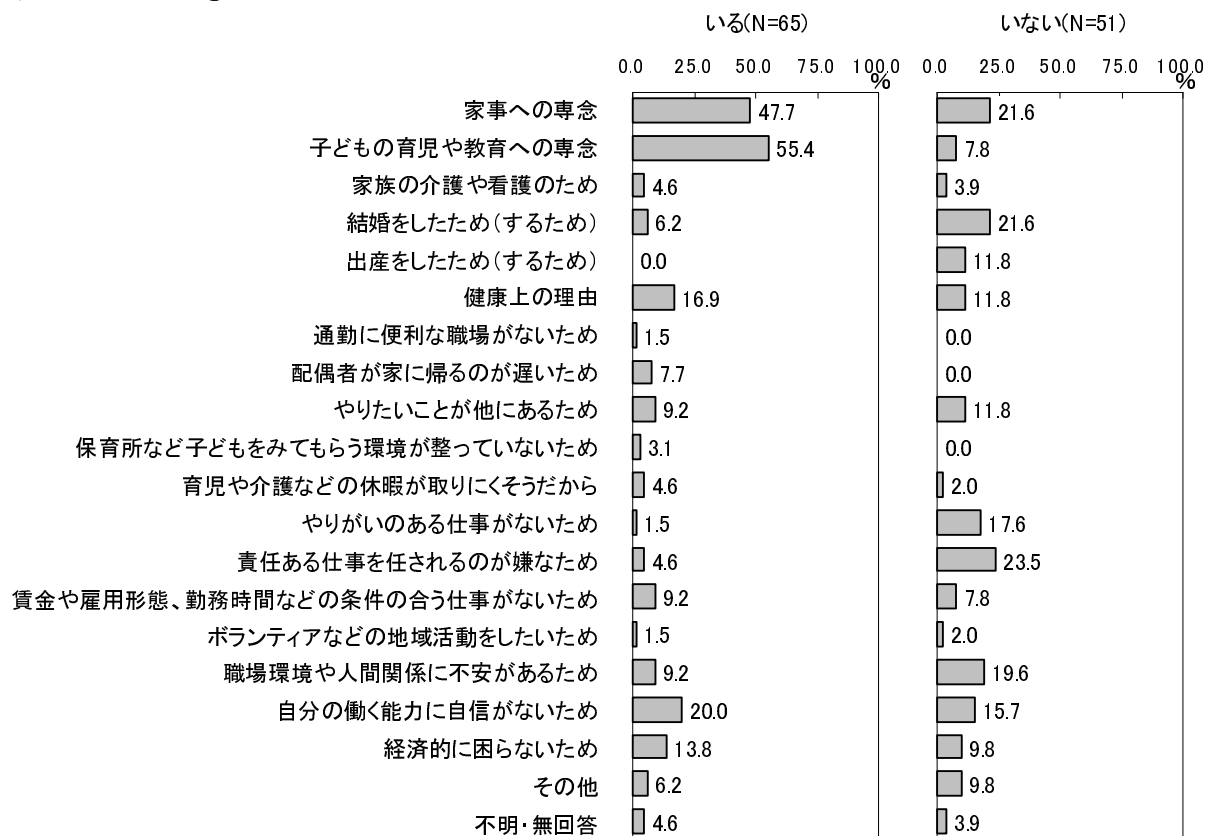
図表 2 - (8) - ④



◆子どもの有無別クロス

子どもの有無別にみると、[いる] では「子どもの育児や教育への専念」、[いない] では「責任ある仕事を任されるのが嫌なため」の割合が最も高くなっている。また、[いる] [いない] 両方で「家事への専念」も高くなっている。

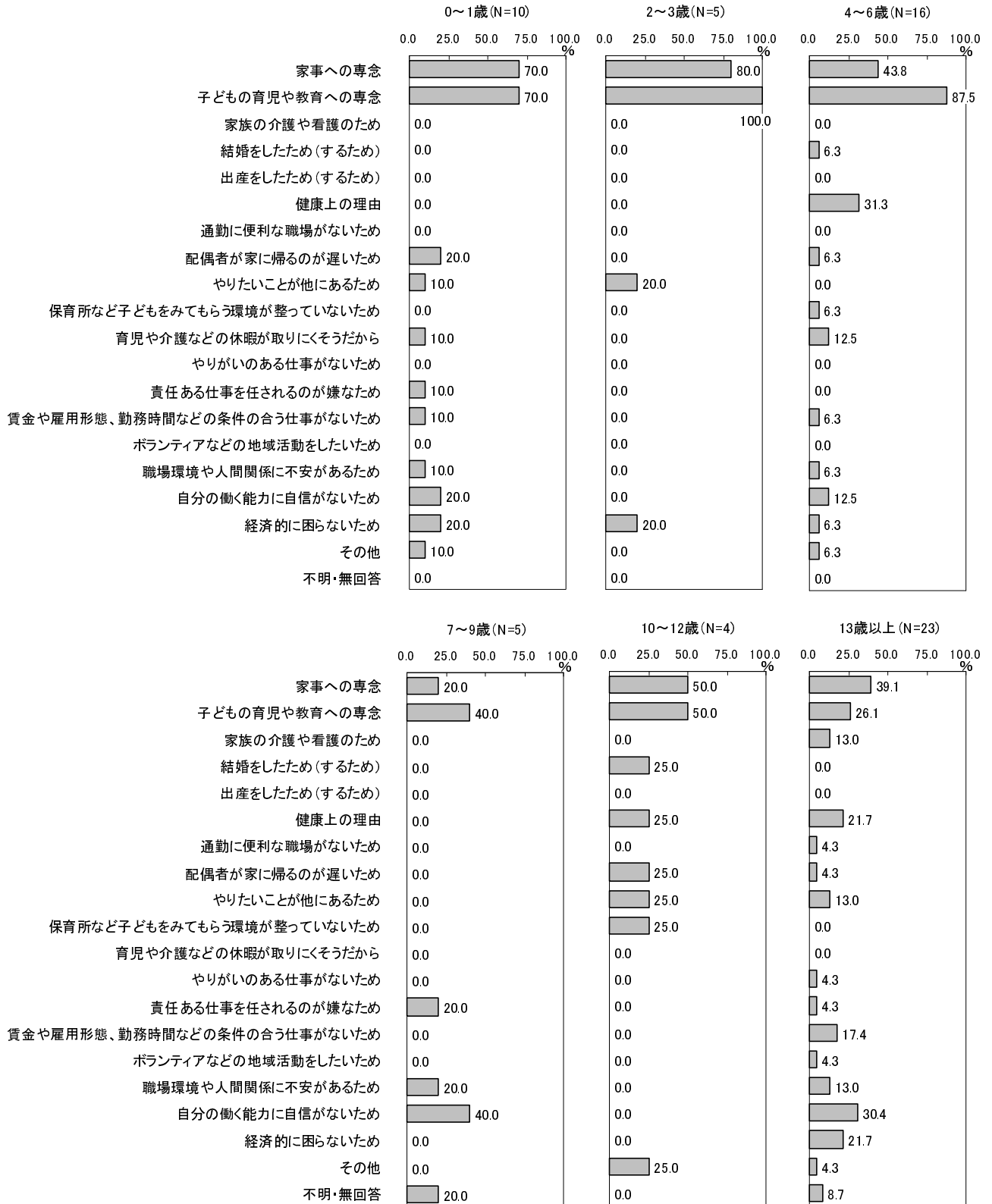
図表 2 - (8) - ⑤



◆末子の年齢別クロス

末子の年齢別にみると、『0～12歳』では「子どもの育児や教育への専念」の割合が高くなっているが、[13歳以上]では「家事への専念」の割合が高くなっている。

図表2 - (8) - ⑥



問9～問11は問7で「働きたい」と回答された方のみ

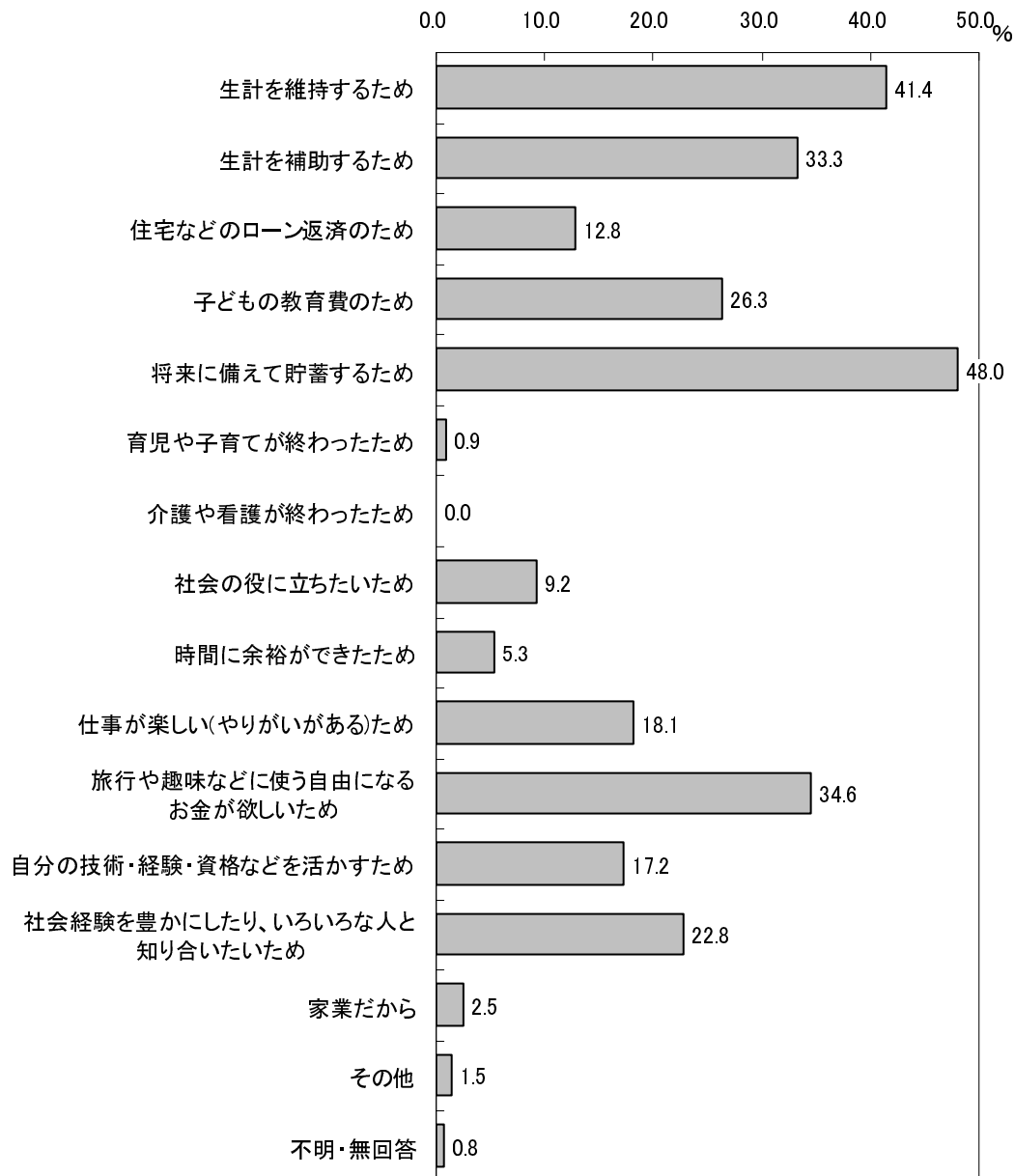
問9 今後「働きたい」理由は何ですか。(MA)

○全体では、「将来に備えて貯蓄するため」の割合が高いが、子どもの有無別にみると[いる]では、「子どもの教育費のため」の割合が高くなっている。

働きたい理由についてみると、「将来に備えて貯蓄するため」が48.0%と最も高く、次いで「生計を維持するため」が41.4%、「旅行や趣味などに使う自由になるお金が欲しいため」が34.6%となっている。

図表2 - (9) - ①

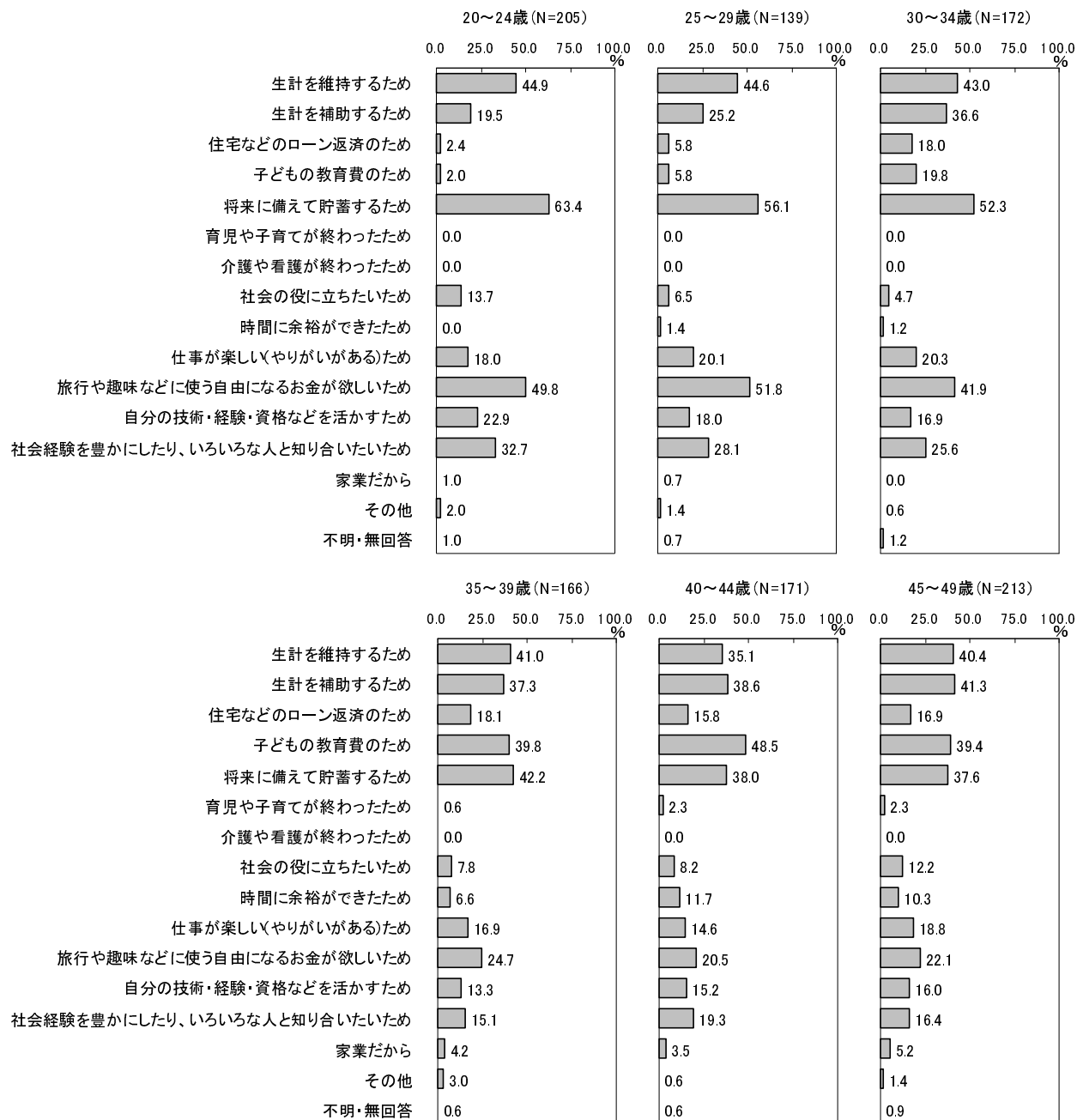
N=1,068



◆回答者の年齢別クロス

年齢別にみると、『20歳代』『30歳代』では「将来に備えて貯蓄するため」の割合が高くなっている。

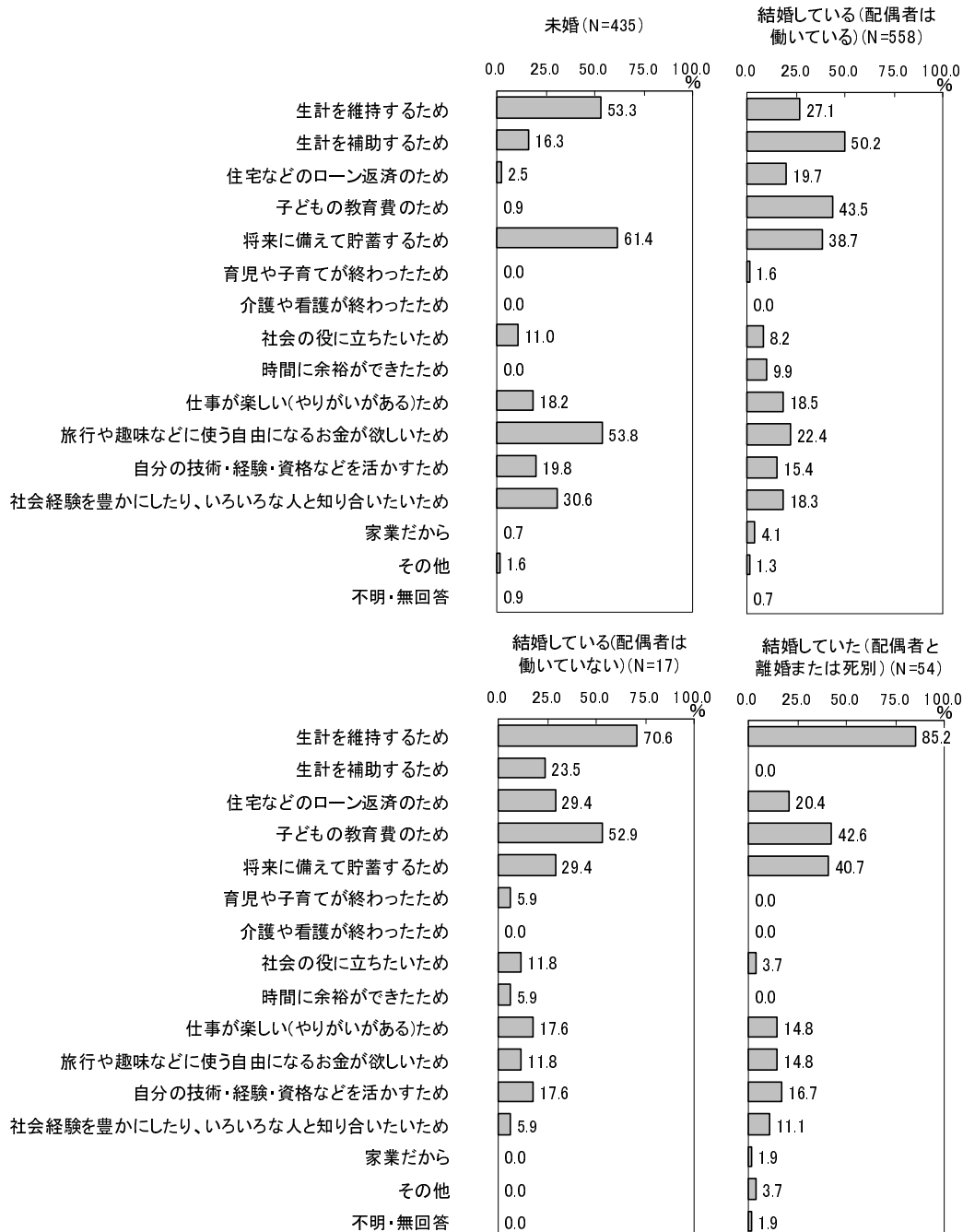
図表2 - (9) - ②



◆婚姻状況別クロス

婚姻状況別にみると、「未婚」では「将来に備えて貯蓄するため」の割合が高く、「結婚している（配偶者は働いていない）」「結婚していた（配偶者と離婚または死別）」では、「生計を維持するため」の割合が高くなっている。

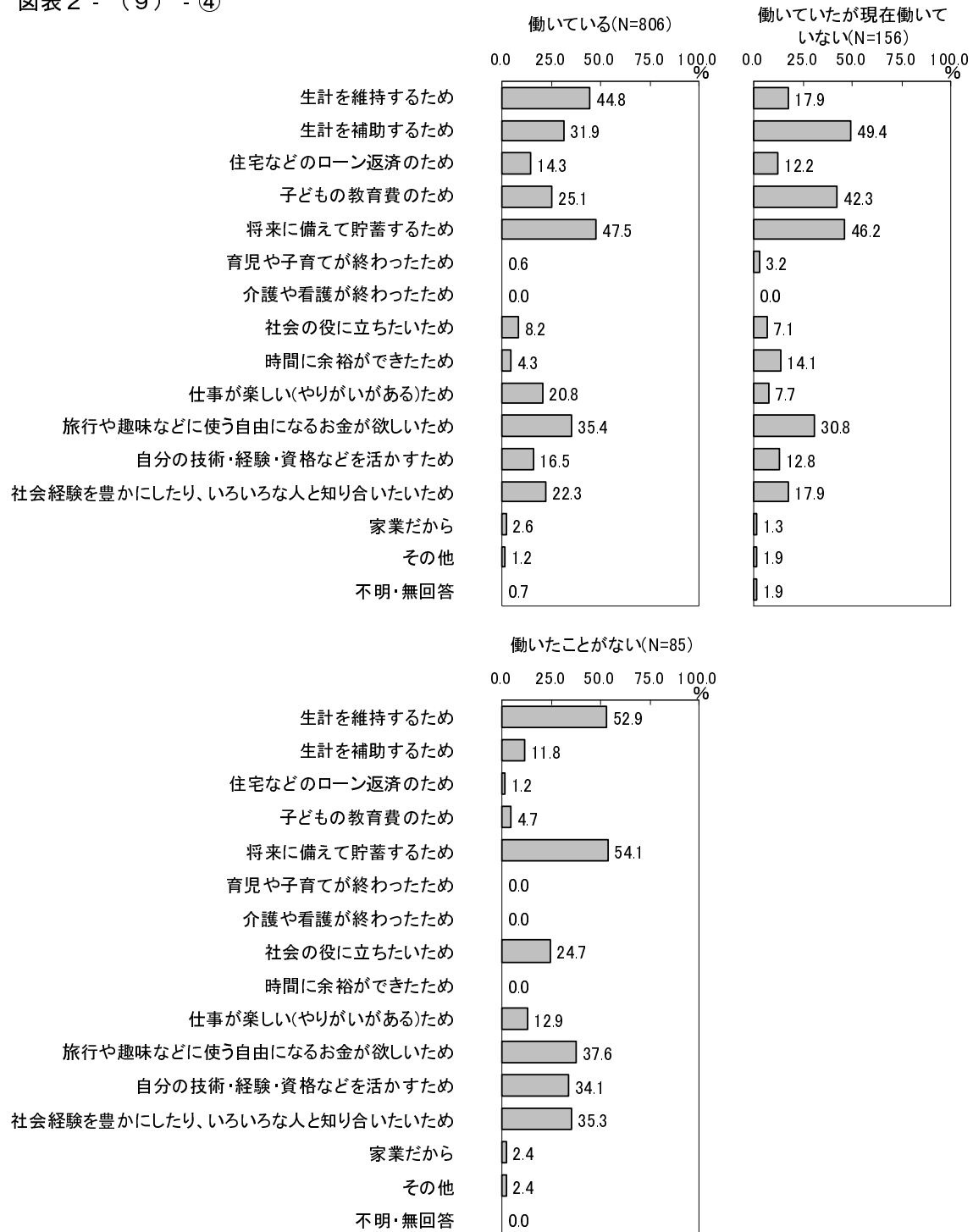
図表 2 - (9) - ③



◆就労状況別クロス

就労状況別にみると、[働いている][働いたことがない]では「将来に備えて貯蓄するため」の割合が高く、[働いていたが現在働いていない]では「生計を補助するため」の割合が高くなっている。

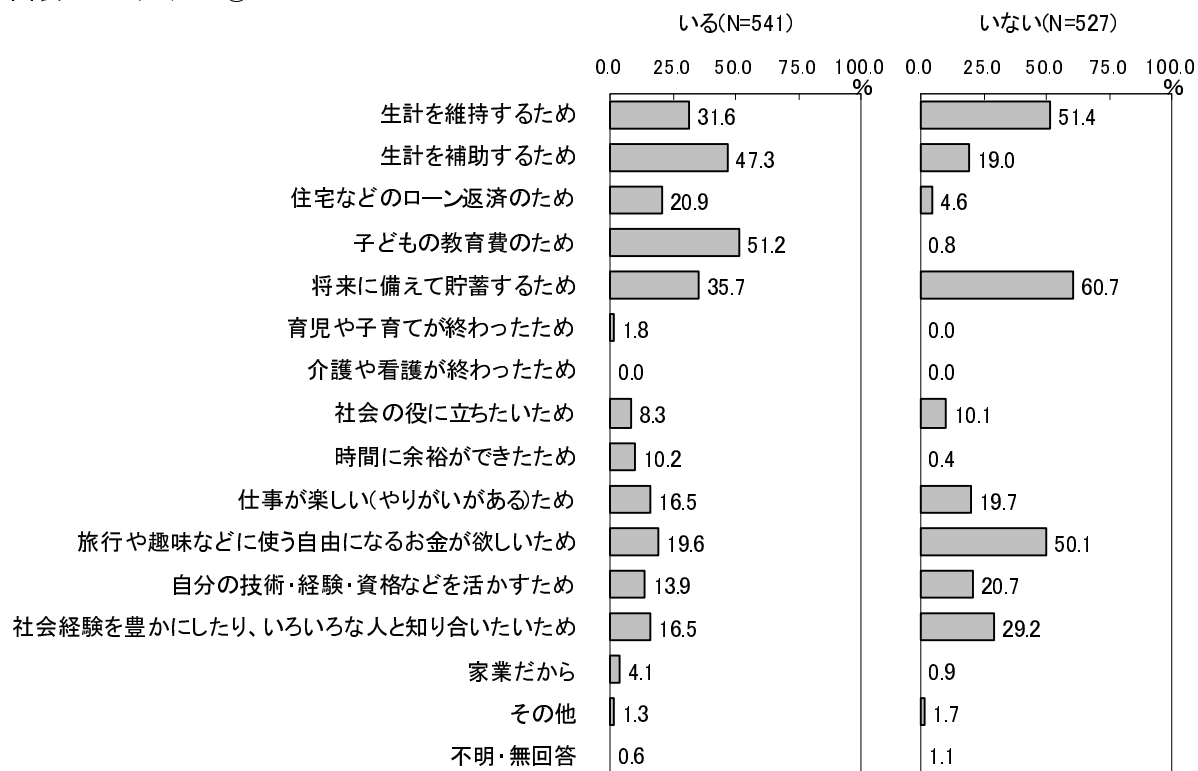
図表 2 - (9) - ④



◆子どもの有無別クロス

子どもの有無別にみると、[いる]では「子どもの教育費のため」の割合が高く、[いない]では「将来に備えて貯蓄するため」の割合が高くなっている。

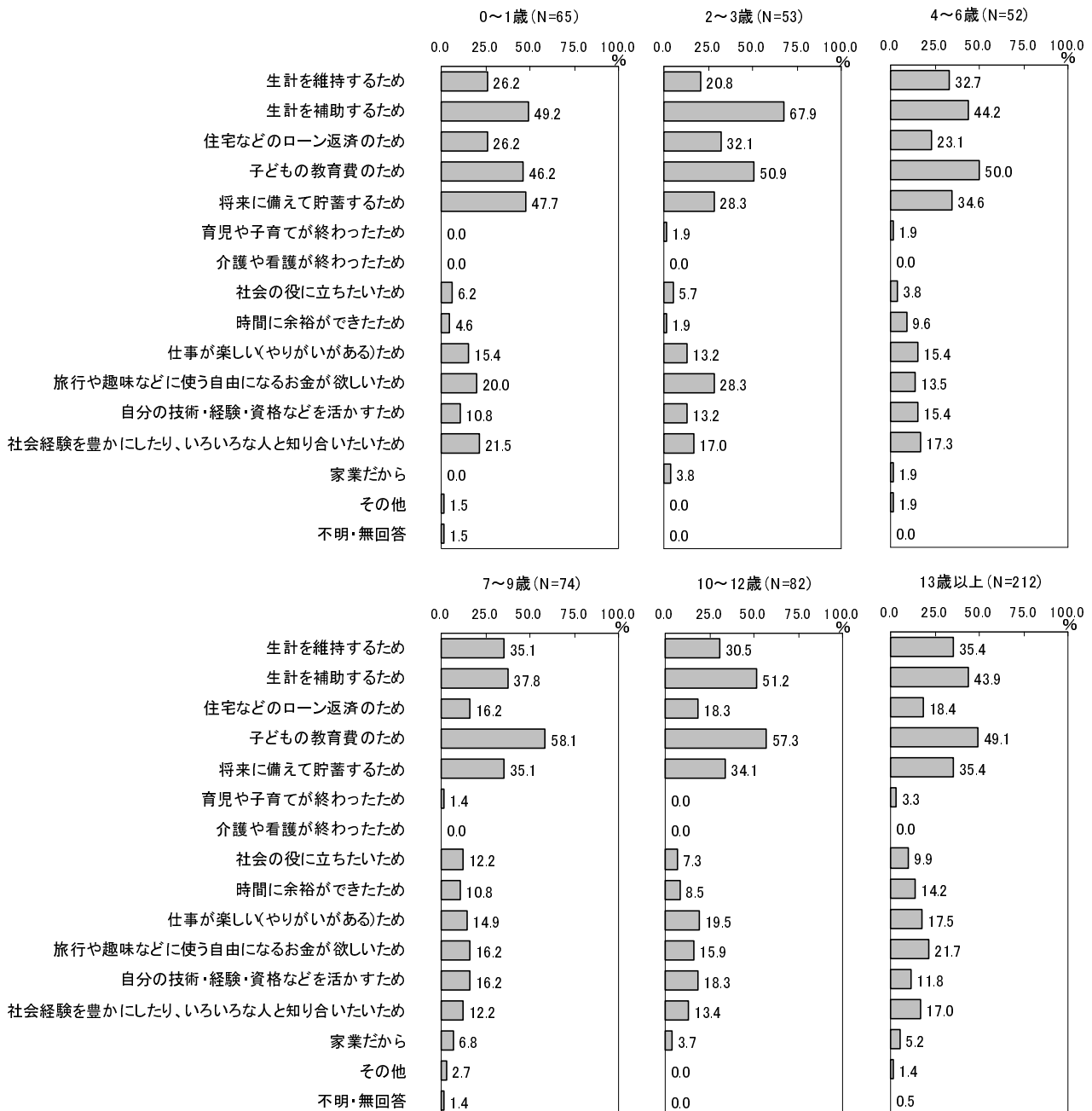
図表2 - (9) - ⑤



◆末子の年齢別クロス

末子の年齢別にみると、『0～3歳』では「生計を補助するため」の割合が高く、『4歳以上』では「子どもの教育費のため」の割合が高くなっている。

図表2 - (9) - ⑥



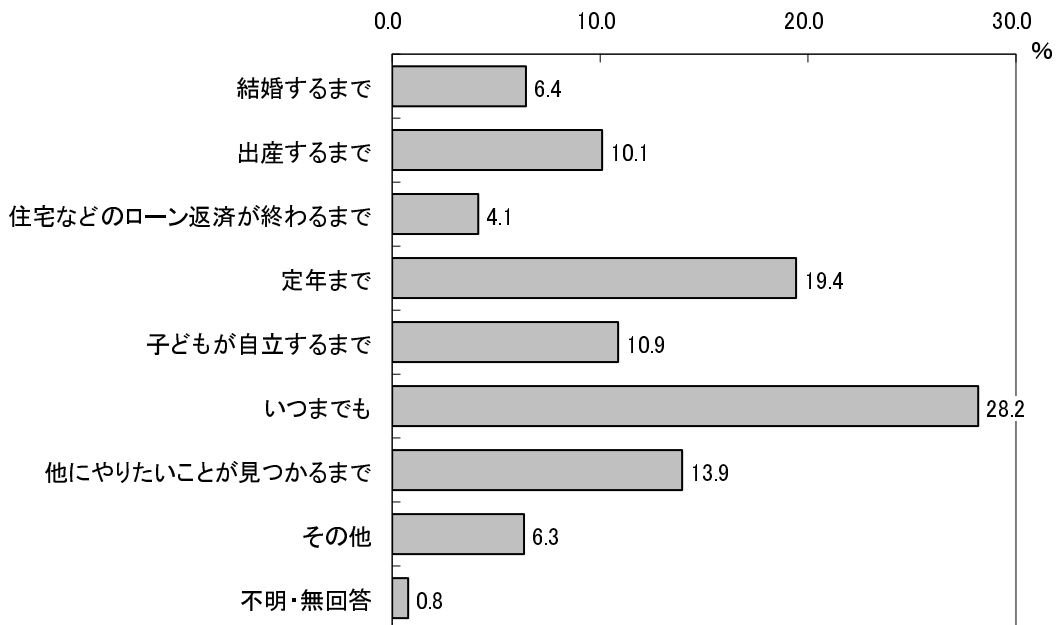
問 10 いつまで働きたいですか。(SA)

○全体では「いつまでも」の割合が高くなっているが、『20 歳代』では『30 歳以上』にくらべて「結婚するまで」「出産するまで」の割合が高くなっている。

いつまで働きたいかについてみると、「いつまでも」が28.2%と最も高く、次いで「定年まで」が19.4%、「他にやりたいことが見つかるまで」が13.9%となっている。

図表 2 - (10) - ①

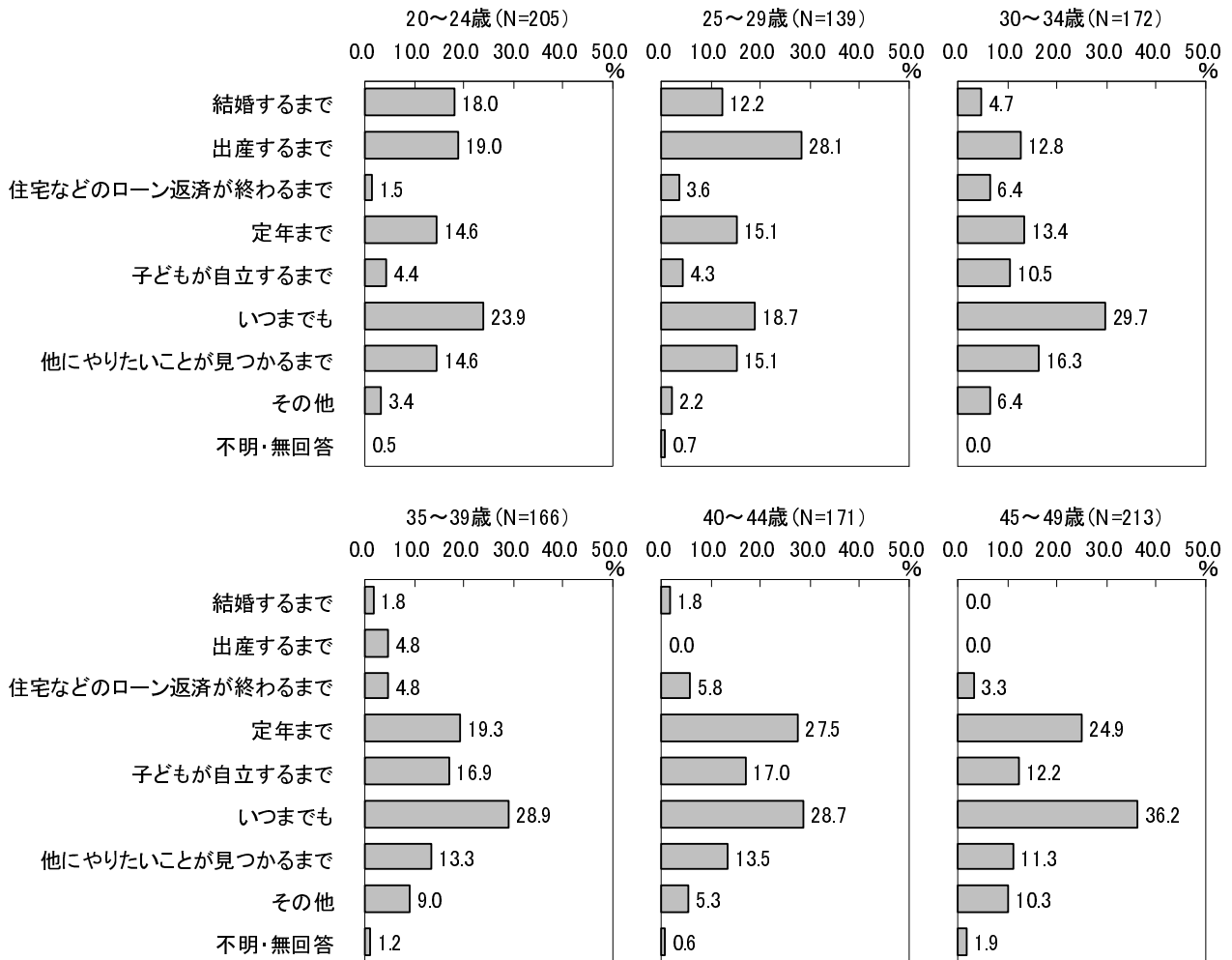
N=1,068



◆回答者の年齢別クロス

年齢別にみると、[25～29 歳] 以外の各階層とも「いつまでも」の割合が高くなっている。また『20 歳代』では「結婚するまで」「出産するまで」の割合も高くなっている。

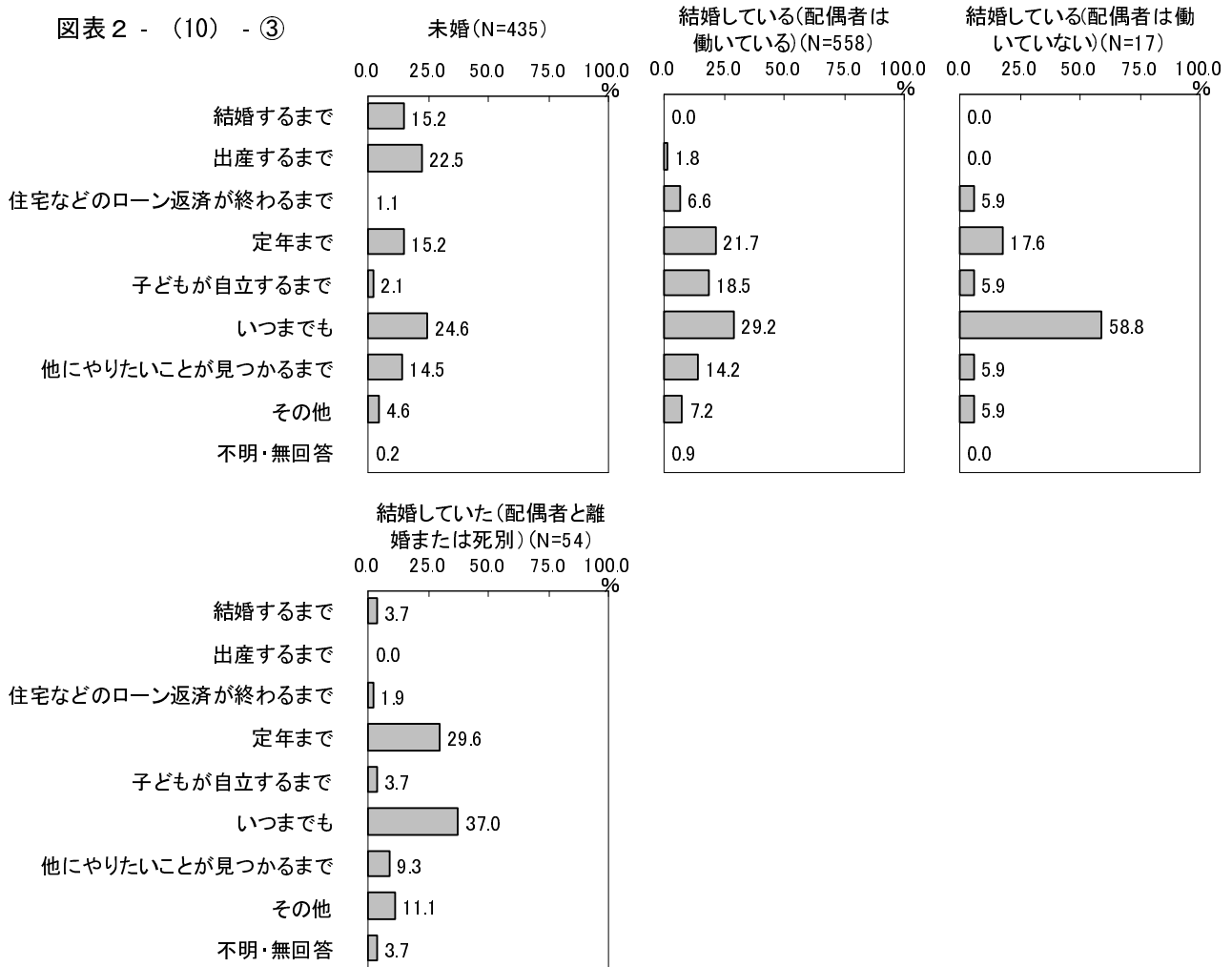
図表 2 - (10) - ②



◆婚姻状況別クロス

婚姻状況別にみると、各階層とも「いつまでも」の割合が高くなっている。

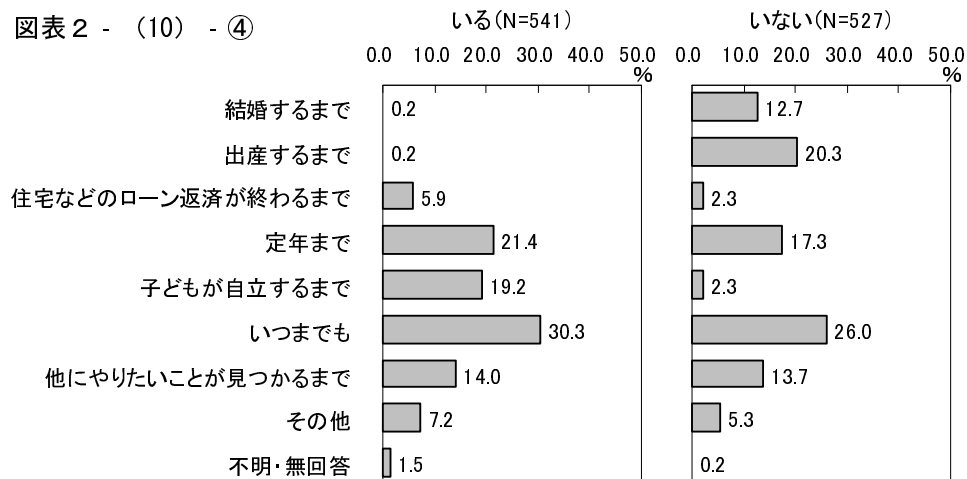
図表 2 - (10) - ③



◆子どもの有無別クロス

子どもの有無別にみると、[いる][いない]ともに「いつまでも」の割合が高くなっている。

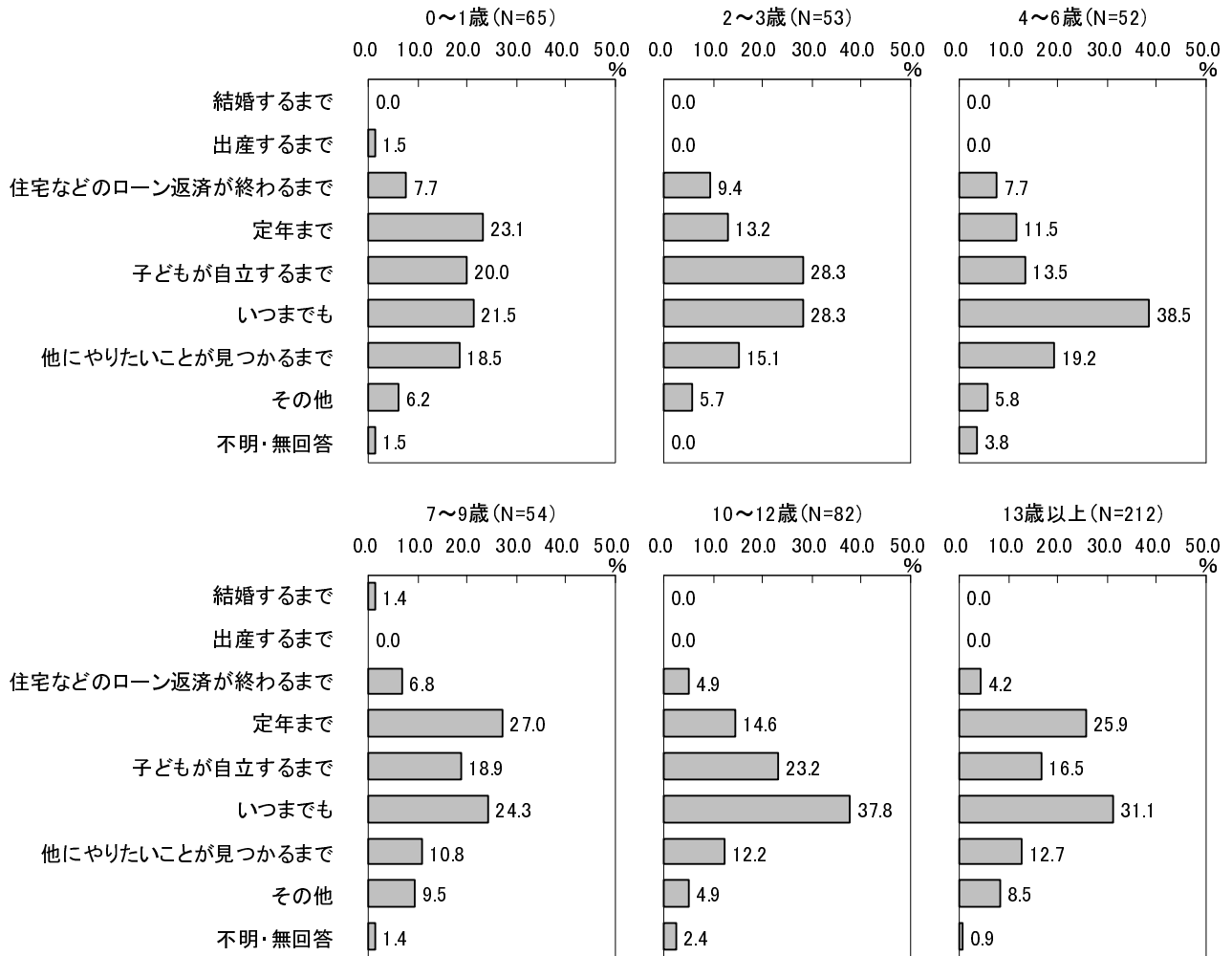
図表 2 - (10) - ④



◆末子の年齢別クロス

末子の年齢別にみると、[0～1歳] [7～9歳] 以外の各階層では「いつまでも」の割合が最も高くなっている。

図表2 - (10) - ⑤



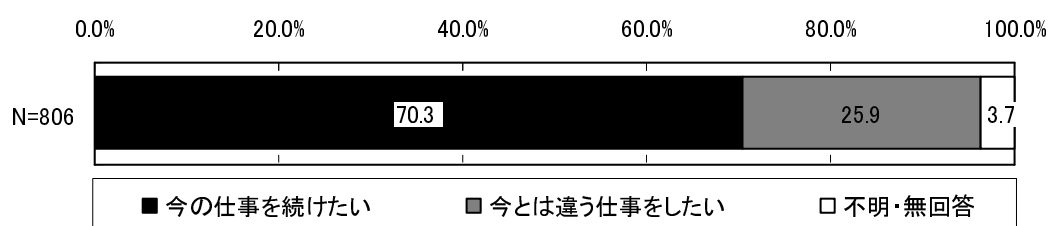
問 11 今後あなたが働くとしたら、どのような仕事がしたいですか。(SA)

現在働いている方

○ [会社などの役員] [正規職員・従業員] [家族従業者] で「今の仕事を続けたい」人の割合が7割を超え、継続する意向を示している一方、「今とは違う仕事をしたい」人の割合は [派遣社員] で最も高くなっている。

今後したい仕事についてみると「今の仕事を続けたい」が70.3%、「今とは違う仕事をしたい」が25.9%となっている。

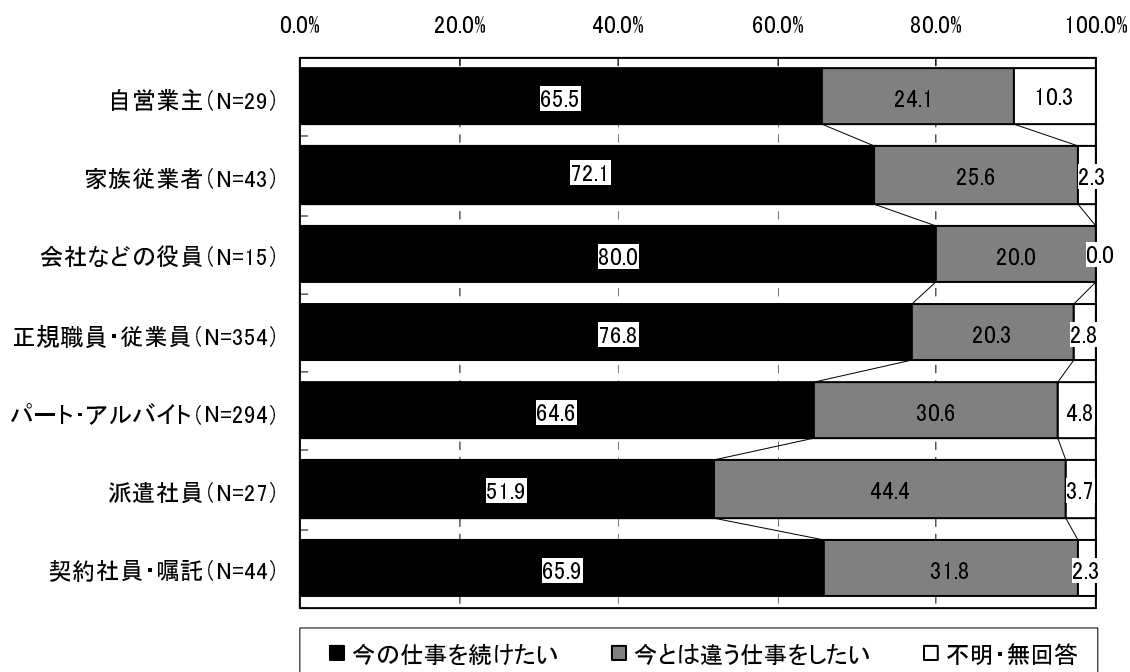
図表 2 - (11) - ①



◆働いている状況別クロス

働いている状況別にみると、「今とは違う仕事をしたい」は [パート・アルバイト] [派遣社員] [契約社員・嘱託] で3割以上となっている。

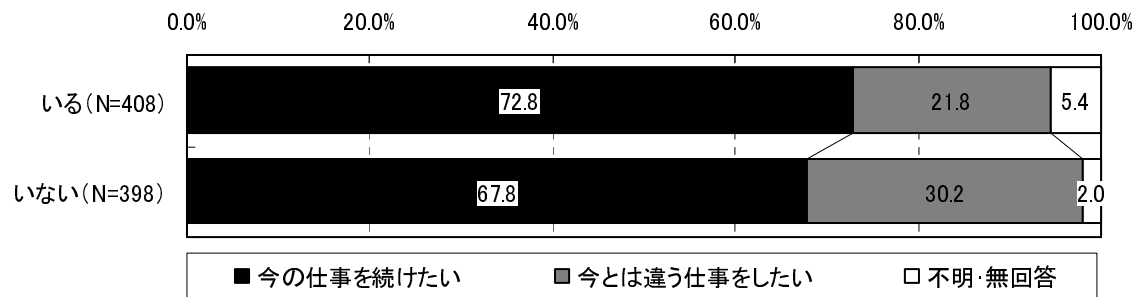
図表 2 - (11) - ②



◆子どもの有無別クロス

子どもの有無別にみると、「今とは違う仕事をしたい」は「いる」に比べ「いない」で高くなっている。

図表 2 - (11) - ③



現在働いていない方、または現在働いている方で「今とは違う仕事をしたい」と回答した方

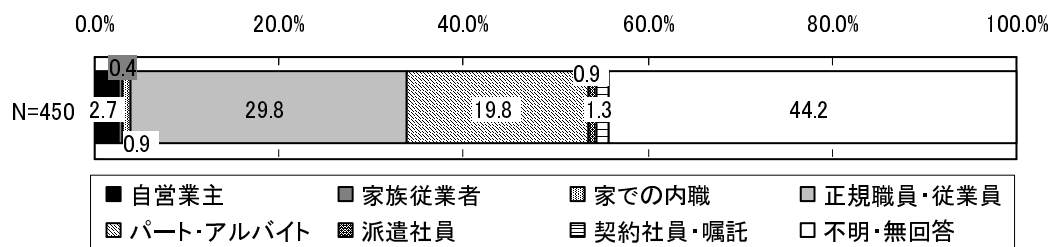
※本設問については、「不明・無回答」と回答する割合が高かったため、それに留意して分析している。

- 「正規職員・従業員」で働きたい人が29.8%と問6の「働いている状況」と同水準となっている。
- 働きたい職種として「事務」(20.0%)「専門的・技術的」(16.9%)が高くなっている。
- 働きたい地域は「奈良県内」(40.0%)であり、通勤時間は「30分未満」(29.3%)の割合が最も高くなっている。

a. 働きたい状況 (SA)

働きたい状況についてみると、「正規職員・従業員」が29.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が19.8%となっている。

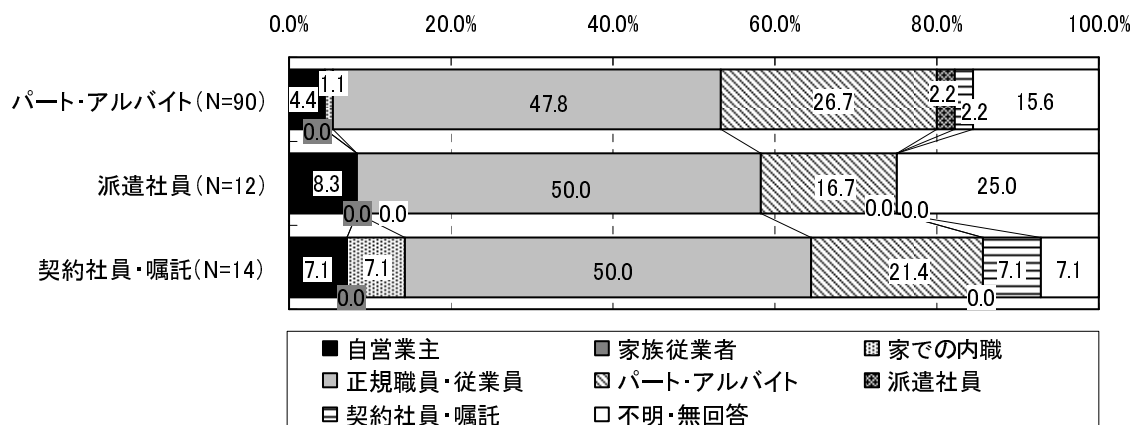
図表2 - (12) - ①



◆現在、「パート・アルバイト」「派遣社員」「契約社員・嘱託」で働いている方で、「今とは違う仕事をしたい」と回答した方の働きたい状況

今とは違う仕事をしたい内容をみると、各階層で「正規職員・従業員」の割合が最も高くなっている。

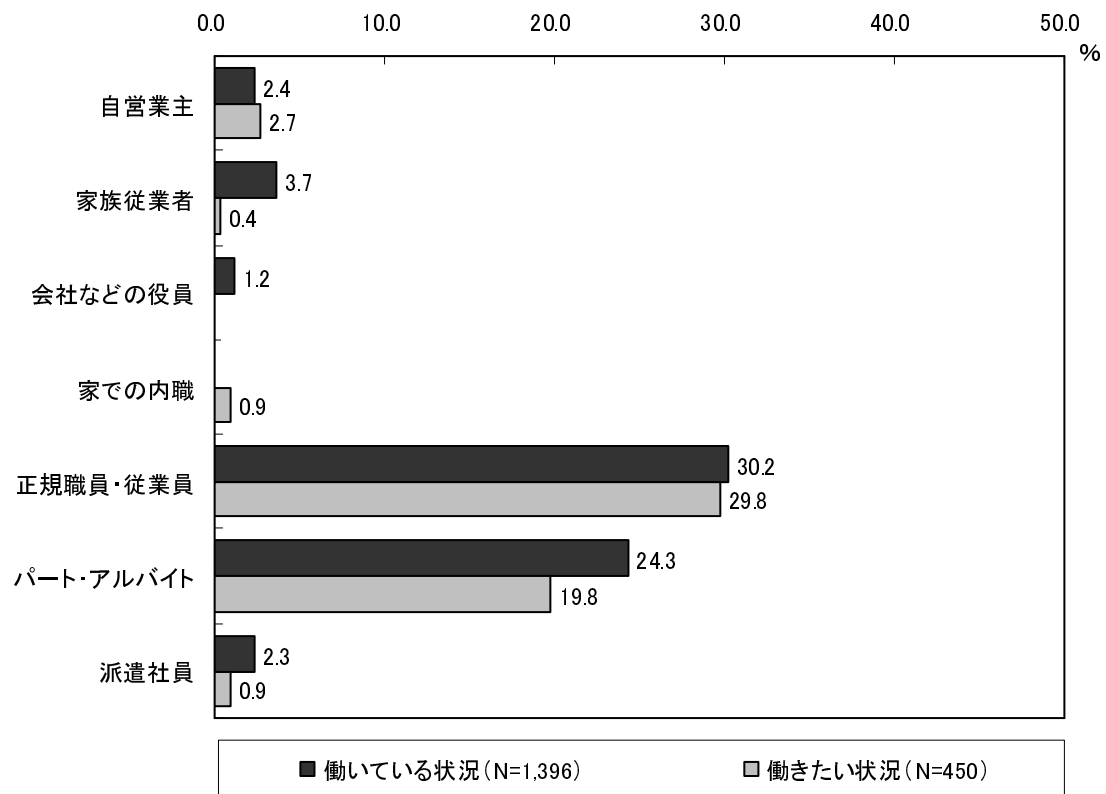
図表2 - (12) - ②



◆働いている状況との比較

働いている状況と比較すると、「働いている状況」「働きたい状況」とともに「正規職員・従業員」が最も高くなっている。

図表 2 - (12) - ③

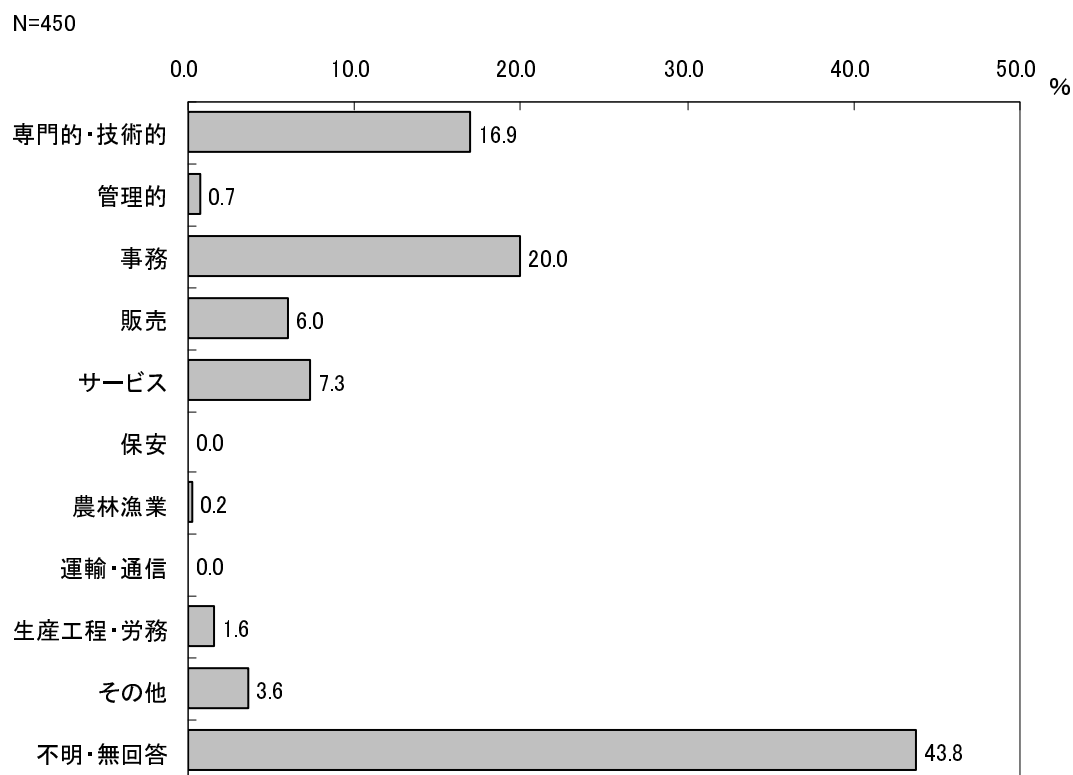


※「会社などの役員」は「働いている状況」のみ、「家での内職」は「働きたい状況」のみの選択肢。

b. 働きたい職種 (SA)

働きたい職種についてみると、「事務」が20.0%と最も高く、次いで「専門的・技術的」が16.9%となっている。

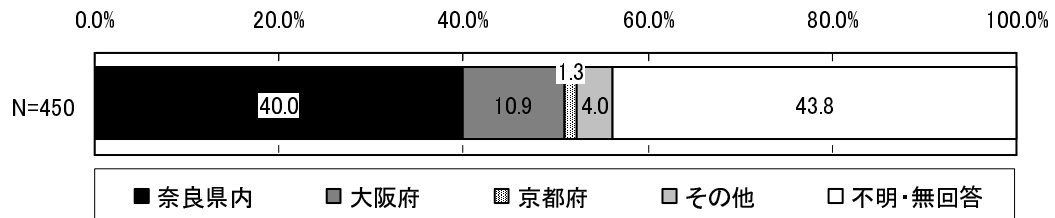
図表2 - (13) - ①



c. 働きたい地域 (SA)

働きたい地域についてみると、「奈良県内」が40.0%と最も高く、次いで「大阪府」が10.9%となっている。

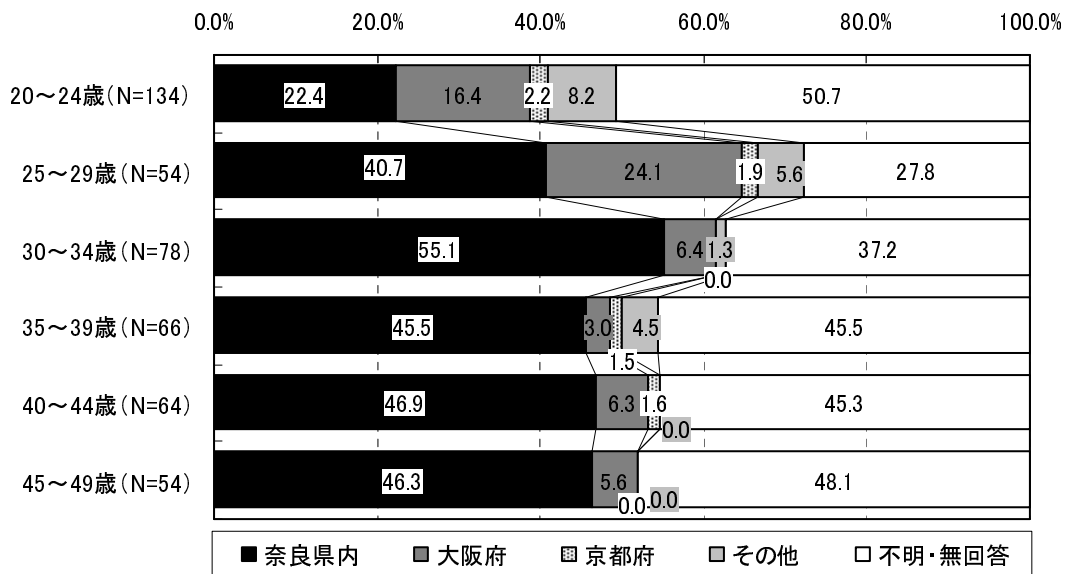
図表 2 - (14) - ①



◆回答者の年齢別クロス

年齢別にみると、各階層とも「奈良県内」の割合が最も高くなっている。

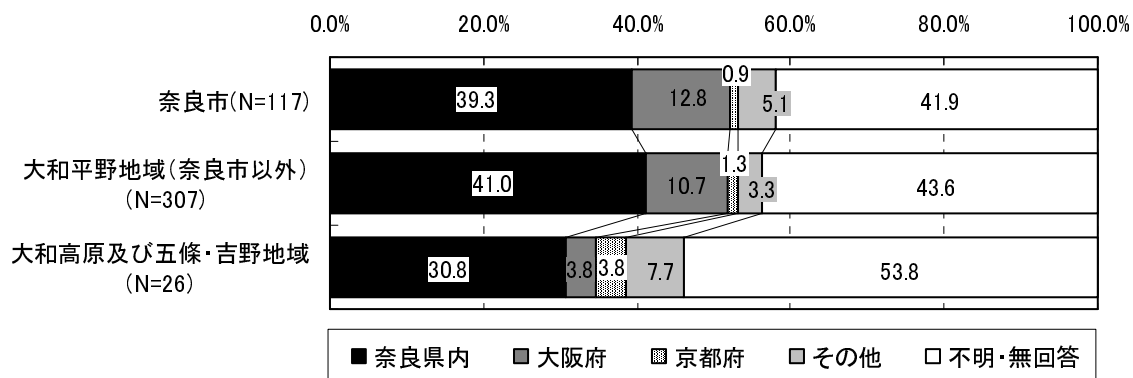
図表 2 - (14) - ②



◆居住地別クロス

居住地別にみると、各階層とも「奈良県内」の割合が高くなっており、[大和高原及び五條・吉野地域]では、他の階層より「大阪府」の割合が低くなっている。

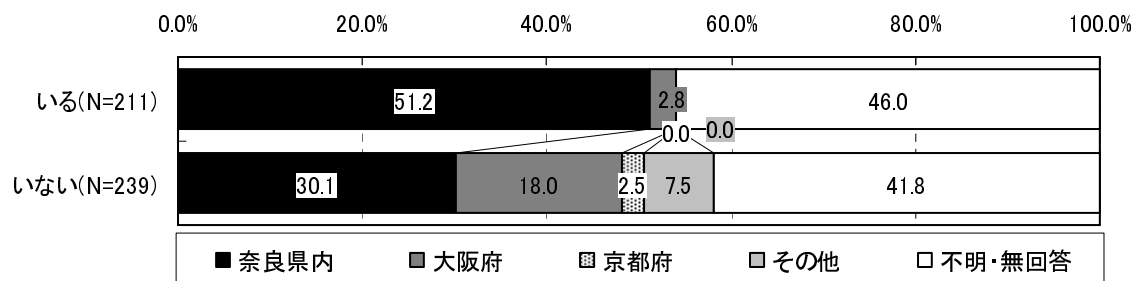
図表 2 - (14) - ③



◆子どもの有無別クロス

子どもの有無別にみると、両階層とも「奈良県内」の割合が高くなっており、[いる]では、[いない]にくらべて県外の割合が低くなっている。

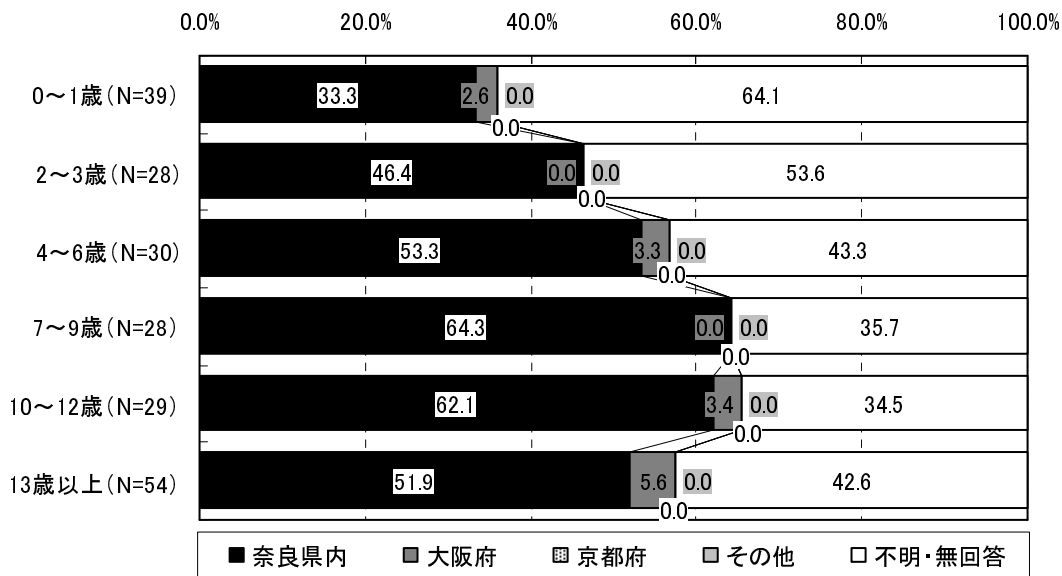
図表 2 - (14) - ④



◆末子の年齢別クロス

末子の年齢別にみると、[2～3歳] [7～9歳]では「不明・無回答」以外は、記入したすべての人が「奈良県内」と回答している。

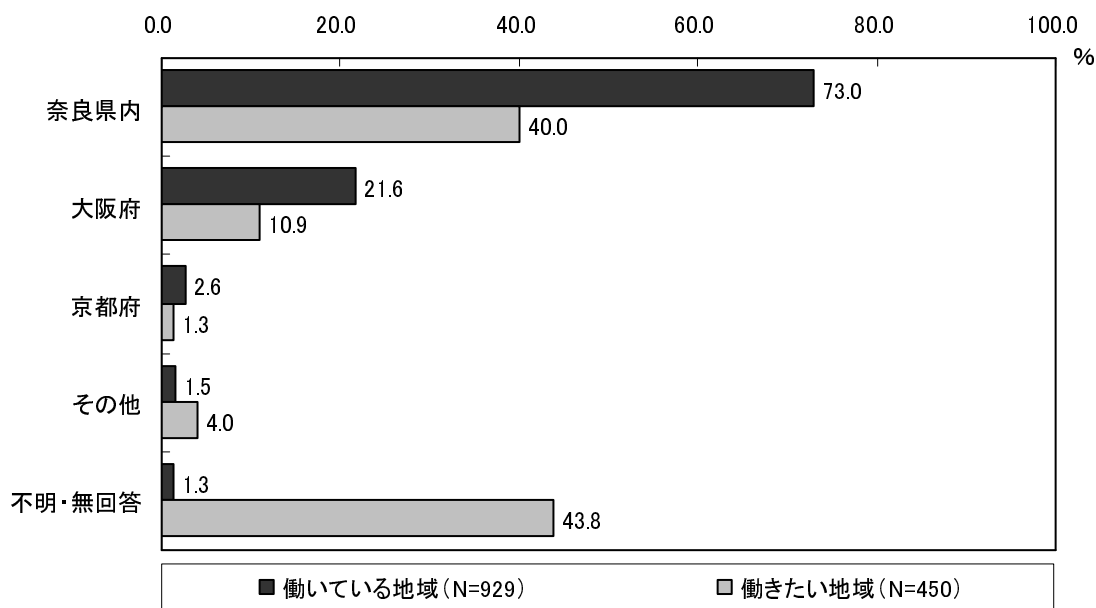
図表 2 - (14) - ⑤



◆現在働いている地域との比較

現在働いている地域と比較すると、[働いている地域] [働きたい地域] ともに「奈良県内」が最も高くなっている。

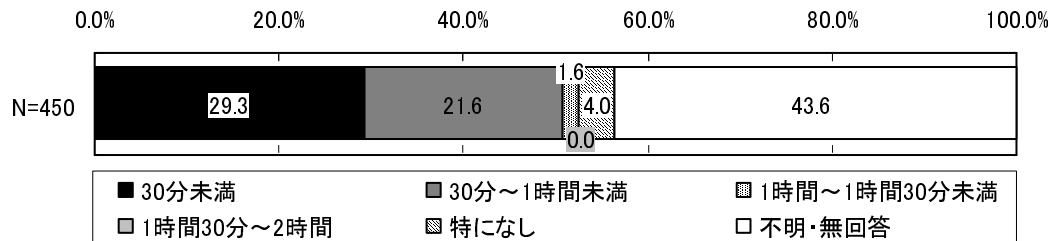
図表 2 - (14) - ⑥



d. 通勤時間 (SA)

通勤時間についてみると、「30分未満」が29.3%と最も高く、次いで「30分～1時間未満」が21.6%となっている。

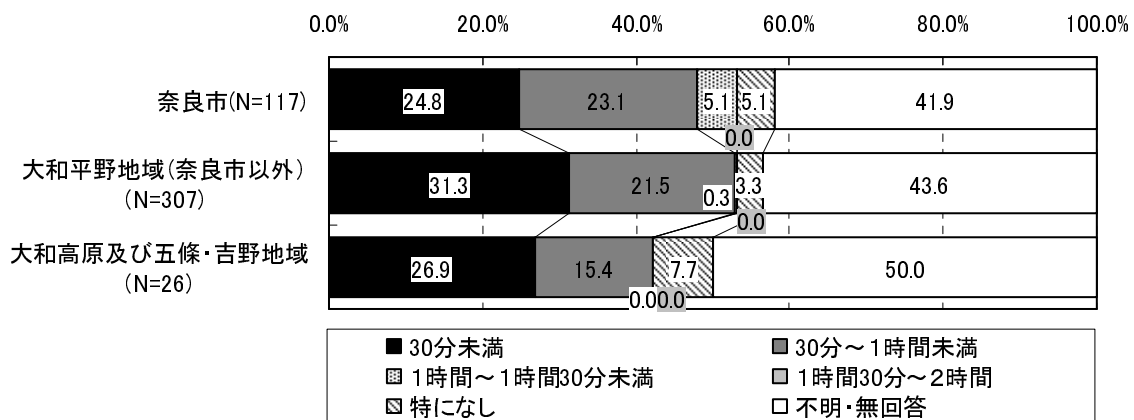
図表 2 - (15) - ①



◆居住地別クロス

居住地別にみると、[大和高原及び五條・吉野地域]では、他の階層より「30分～1時間未満」の割合が低くなっている。

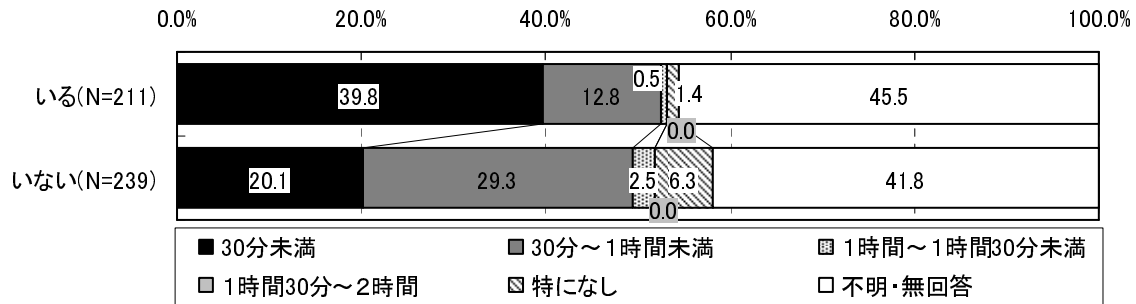
図表 2 - (15) - ②



◆子どもの有無クロス

子どもの有無別にみると、[いる]では、「30分未満」の割合が最も高く、[いない]では「30分～1時間未満」の割合が最も高くなっている。

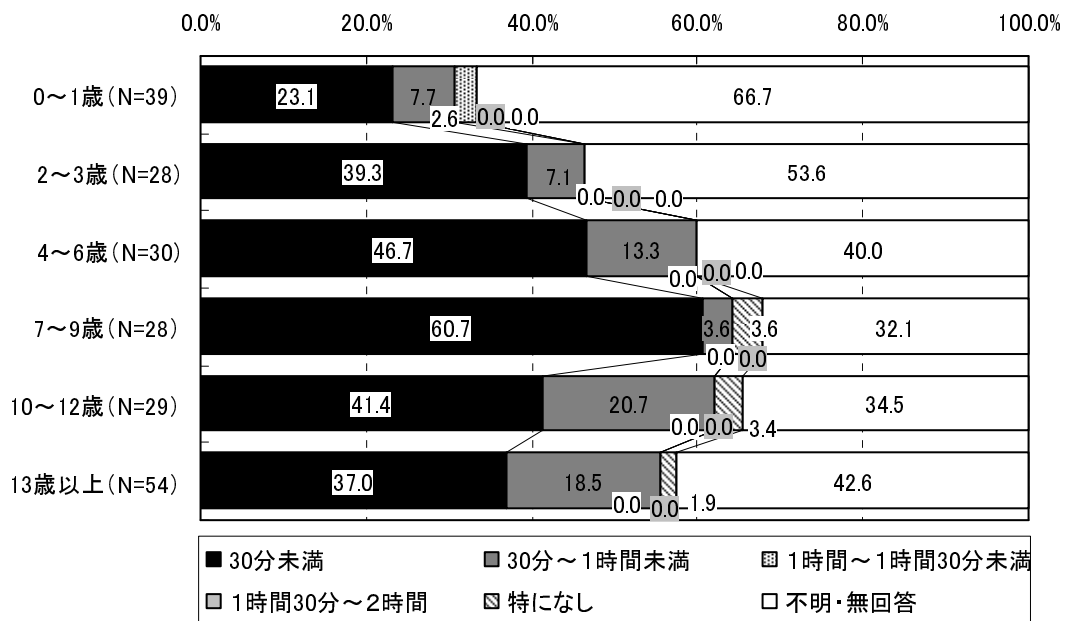
図表 2 - (15) - ③



◆末子の年齢別クロス

末子の年齢別にみると、すべての階層で「30分未満」の割合が最も高くなっている。

図表 2 - (15) - ④



《働いていたが現在働いていない人の状況》

「働いていたが現在働いていない」人の状況は以下の通りとなっている。

●働きたい状況について子どもの有無別クロス

図表2 - (16) - ①

